

令和3年度

事業報告

(案)

社会福祉法人ベタニヤホーム

## 目 次

○令和3年度 社会福祉法人ベタニヤホーム 事業報告案	1
<b>【各拠点事業報告】</b>	
○令和3年度 法人本部 事業報告案	3
○令和3年度 母子生活支援施設 ベタニヤホーム 事業報告案	15
○令和3年度 菊川保育園 事業報告案	27
○令和3年度 富士見保育園 事業報告案	34
○令和3年度 こひつじ保育園 事業報告案	40

## 令和3（2021）年度 社会福祉法人ベタニヤホーム 事業報告

キリスト教の隣人愛の精神と社会福祉の理念に基づく社会福祉法人ベタニヤホームの基本理念の実現と使命を果たすべく、また、社会福祉法人として法に基づく適正な組織運営とガバナンスの強化を図るため、今年度も新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けつつも、利用者各位をはじめ地域の支援者、関係団体・機関の皆様のご理解とご協力のもと、役職員が一丸となって取り組みを行った。

以下、令和3年度に法人が掲げた基本方針に基づく取り組みなど主なものについて報告する。

### 一、法人創立100周年記念事業の準備をすすめる。

令和3年度から、各施設から職員が参加して準備委員会を組織し、職員への周知と参加意識の醸成を図るため、創立100周年記念事業に関するアンケートを企画・実施し、その結果をもとに創立100周年記念事業の企画と実施方法、具体的企画案について検討を行った。

また、令和4年度には2回目のアンケートを行い企画を具体化するとともに、法人、施設にゆかりのある方々や役員等に参画を得て創立100周年記念事業実行委員会を立ち上げる予定である。

### 二、社会的養護中長期計画の策定をすすめる。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、当初計画した策定作業を行うことができなかった。

### 三、老朽化が進む富士見保育園園舎の建替え事業を開始する。

建替え準備委員会による設計・監理業務の指名型プロポーザルの提案・実施後、建替え設計・監理業者を決定した。職員の声を反映した設計図面を作成し、江戸川区との事前協議を経て補助金申請を行った結果、令和4年4月1日付で補助内示を得ることができた。令和4年度は建替え委員会を設置し、建設業者の入札など工事に関する様々な検討を行い、今秋の着工をめざす。

その他に、令和3年度は理事・監事・評議員の一斉改選が行われ、この機にこれまで法人運営にご尽力をいただいた理事1名、監事1名、評議員3名が退任され、新たな役員、評議員をお迎えすることとなった。

最後に、教会との関わりであるが、コロナ禍において継続して祈りの場をご提供いただいた。日本福音ルーテル聖パウロ教会には、法人全体で実施する礼拝の会場として、また、月例開催の施設連絡協議会においても御言葉とともに祈りをいただいたほか、コロナ禍にある施設利用者や職員等を精神的に支えていただいている。そして、日本福音ルーテル教会の現役、引退の教職の方々から、前述のとおり一斉改選後も理事・評議員として法人運営に参画いただけたほか、各施設の担当牧師としてそれぞれお力添えをいただいた。心より感謝申し上げる。

令和3年度の重点事項と具体的な実践計画に基づく取り組み成果等については、次頁以降の各拠点ごとの事業報告をご覧ください。

令和4年度も、法人各施設では徹底して感染症対策を講じながら、キリスト教精神と社会福祉の理念のもと、ベタニヤホーム本来の働きが果たせるよう努めていきたい。



## 令和3（2021）年度 法人本部 事業報告

### I 令和3年度の法人本部運営方針に基づく取り組みの成果と課題について

今年度も、新型コロナウイルス感染症の拡がりにより、法人運営の様々な面で大きな影響を受けた。組織体制の再構築に向けての作業としては、引き続き未整備の規定に関しては法制度及び法人の組織体制に沿って、人事・労務・服務関係を中心に必要な規定を整えた。特に、懸案であった新たな人事評価制度をまとめ、令和4年度からの運用につなぐことができたが、制度の試行が行えなかったため、運用と検証・見直しを同時に行っていく。

また、法人創立100周年に向けては、各施設の職員が参画する創立100周年記念事業準備委員会を設置、毎月の会議と職員へのアンケートを経て周知や企画案、職員みんなが参加できる事業とするべく枠組みをまとめた。1年後に迎えるその時に向け引き続き検討を行う。

さらに、老朽化が進む富士見保育園の建替えに関しても、役員と富士見保育園職員等が構成する建替え準備委員会による設計・監理業者の選定プロポーザル、法人経営委員を中心とした設計・監理業務委託事業者選定委員会の審査を経て事業者を決定した。設計作業をすすめ、江戸川区と国への補助申請協議を重ねた結果、補助内示を受けるに至っている。

一方、キリスト教社会福祉の日々の実践と法人の基本理念との有機的つながりの浸透に向けては、各施設とも十分な研修等が行えず、法人全体の計画も事務研修を中心とするものに限られた。令和4年度は感染状況を見ながら職層研修等から再開するとともに、人材育成方針及び研修体系の策定に取りかかりたい。

### II 令和3年度の重点的な取り組み目標と目標達成に向けての具体的な取り組みや事業

#### 1 法人運営へのかかわり

重点的な取り組み目標に対する実績・成果

#### (1)経営組織の体制再構築と法令を遵守した安定的な運営

##### ①理事会 開催5回

第1回	令和3年6月4日リモート開催	出席	理事7人 監事2人
<決議事項> 議案第1号 令和2年度菊川保育園拠点区分資金収支補正予算（補正第2号） 議案第2号 令和2年度事業報告及び決算報告の承認について 議案第3号 社会福祉充実計画の策定について 議案第4号 社会福祉法人ベタニヤホーム有期契約職員就業規程の一部改正について 議案第5号 社会福祉法人ベタニヤホーム役員等報酬規程の一部改正について 議案第6号 役員等賠償責任保険契約について 議案第7号 次期評議員選任・解任委員の選任について 議案第8号 次期評議員選任候補者の推薦について 議案第9号 次期理事及び監事選任候補者の推薦について 議案第10号 令和3年度第1回評議員会の招集について <報告事項>			

- 1 令和2年度各拠点区分資金収支予算の流用報告について
- 2 令和2年度各拠点区分予備費の使用報告について
- 3 令和2年度事業報告並びに計算関係書類及び財産目録に関する監事監査報告について
- 4 令和2年度決算に基づく社会福祉充実残額について
- 5 理事長及び業務ブロック担当理事の業務の執行状況報告について
- 6 創立100周年記念事業準備委員会について
- 7 富士見保育園建替え準備委員会について
- 8 社会福祉法人ベタニヤホーム担当牧師の委嘱について

第2回 令和3年6月25日リモート開催 出席 理事7人 監事3人

<決議事項>

議案第11号 理事長の選定について

議案第12号 社会福祉法人ベタニヤホーム苦情解決第三者委員会規則の一部改正について

<報告事項>

- 1 評議員の選任報告について
- 2 社会的養護中長期計画策定状況報告について

第3回 令和3年9月21日リモート開催 出席 理事7人 監事3人

<決議事項>

議案第13号 令和3年度母子生活支援施設ベタニヤホーム拠点区分資金収支補正予算（補正第1号）

議案第14号 富士見保育園園舎建替え設計・監理業務委託に係る事業者の選定ほかについて

議案第15号 社会福祉法人ベタニヤホーム経理規程の一部改正について

議案第16号 社会福祉法人ベタニヤホーム就業規程の一部改正について

議案第17号 社会福祉法人ベタニヤホーム有期契約職員就業規程の一部改正について

議案第18号 社会福祉法人ベタニヤホーム職員共済会規程の一部改正について

議案第19号 令和3年度第2回評議員会の招集について

<報告事項>

- 1 新型コロナウイルス感染状況など各施設からの報告について
- 2 会計監事による中間監査の実施について
- 3 社会福祉充実計画の承認報告について

第4回 令和3年10月28日リモート開催 出席 理事7人 監事3人

<決議事項>

議案第20号 令和3年度菊川保育園拠点区分資金収支補正予算（補正第1号）

議案第21号 令和3年度富士見保育園拠点区分資金収支補正予算（補正第1号）

議案第22号 令和3年度こひつじ保育園拠点区分資金収支補正予算（補正第1号）

1号)

議案第23号 富士見保育園園舎建替え設計・監理業務委託に係る事業者の決定について

議案第24号 富士見保育園建替え委員会の設置について

議案第25号 社会福祉法人ベタニヤホーム就業規程の一部改正について

議案第26号 社会福祉法人ベタニヤホーム再雇用職員就業規程の一部改正について

議案第27号 社会福祉法人ベタニヤホーム有期契約職員就業規程の一部改正について

議案第28号 社会福祉法人ベタニヤホーム賃金規程の一部改正について

議案第29号 令和3年度第3回評議員会の招集について

<報告事項>

1 令和3年度菊川保育園拠点区分資金収支予算の流用報告について

2 令和3年度上半期事業執行状況報告について

第5回 令和4年3月15日リモート開催 出席 理事7人 監事2人

<決議事項>

議案第30号 令和3年度法人本部拠点区分資金収支補正予算(補正第1号)

議案第31号 令和3年度母子生活支援施設ベタニヤホーム拠点区分資金収支補正予算(補正第2号)

議案第32号 令和3年度菊川保育園拠点区分資金収支補正予算(補正第2号)

議案第33号 令和3年度富士見保育園拠点区分資金収支補正予算(補正第2号)

議案第34号 令和3年度こひつじ保育園拠点区分資金収支補正予算(補正第2号)

議案第35号 令和3年度母子生活支援施設ベタニヤホーム警備業務委託契約の締結について

議案第36号 富士見保育園園舎建替え設計・監理業務委託契約の締結について

議案第37号 富士見保育園園舎建替え資金計画及び資金借入の承認について

議案第38号 社会福祉法人ベタニヤホーム就業規程の一部改正について

議案第39号 社会福祉法人ベタニヤホーム育児・介護休業等に関する規則の一部改正について

議案第40号 社会福祉法人ベタニヤホーム賃金規程の一部改正について

議案第41号 社会福祉法人ベタニヤホーム人事評価制度規程の制定について

議案第42号 社会福祉法人ベタニヤホーム職員共済会規程の廃止について

議案第43号 理事選任候補者の推薦について

議案第44号 令和3年度第4回評議員会の招集について

議案第45号 令和4年度事業計画及び資金収支予算の承認について

<報告事項>

- 1 創立100周年記念事業準備委員会活動報告について
- 2 令和3年度貸金規程等検討委員会活動報告について
- 3 富士見保育園園舎建替えについて

②評議員会 開催4回

第1回	令和3年6月19日書面決議	評議員9人(同意)
<p>&lt;決議事項&gt;</p> <p>議案第1号 令和2年度菊川保育園拠点区分資金収支補正予算(補正第2号)</p> <p>議案第2号 令和2年度事業報告及び決算報告の承認について</p> <p>議案第3号 社会福祉充実計画の策定について</p> <p>議案第4号 社会福祉法人ベタニヤホーム役員等報酬規程の一部改正について</p> <p>議案第5号 次期理事及び監事の選任について</p> <p>&lt;報告事項&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 令和2年度各拠点区分資金収支予算の流用報告について</li> <li>2 令和2年度各拠点区分予備費の使用報告について</li> <li>3 令和2年度事業報告並びに計算関係書類及び財産目録に関する監事監査報告について</li> <li>4 令和2年度決算に基づく社会福祉充実残額について</li> <li>5 理事長及び業務ブロック担当理事の業務の執行状況報告について</li> <li>6 創立100周年記念事業準備委員会について</li> <li>7 富士見保育園建替え準備委員会について</li> <li>8 社会福祉法人ベタニヤホーム担当牧師の委嘱について</li> </ol>		
第2回	令和3年10月4日リモート開催	出席 評議員8人 理事1人
<p>&lt;決議事項&gt;</p> <p>議案第6号 令和3年度母子生活支援施設ベタニヤホーム拠点区分資金収支補正予算(補正第1号)</p> <p>&lt;報告事項&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 富士見保育園園舎建替え設計・監理業務委託に係る事業者の選定ほかについて</li> <li>2 社会福祉法人ベタニヤホーム経理規程の一部改正について</li> <li>3 社会福祉法人ベタニヤホーム就業規程の一部改正について</li> <li>4 社会福祉法人ベタニヤホーム有期契約職員就業規程の一部改正について</li> <li>5 社会福祉法人ベタニヤホーム職員共済会規程の一部改正について</li> <li>6 新型コロナウイルス感染状況など各施設からの報告について</li> <li>7 会計監事による中間監査の実施について</li> <li>8 社会福祉充実計画の承認報告について</li> </ol>		
第3回	令和3年11月8日リモート開催	出席 評議員7人 理事1人
<p>&lt;決議事項&gt;</p> <p>議案第7号 令和3年度菊川保育園拠点区分資金収支補正予算(補正第1号)</p> <p>議案第8号 令和3年度富士見保育園拠点区分資金収支補正予算(補正第1</p>		



号)

議案第9号 令和3年度こひつじ保育園拠点区分資金収支補正予算（補正第1号）

<報告事項>

- 1 令和3年度菊川保育園拠点区分資金収支予算の流用報告について
- 2 理事長の令和3年度上半期業務執行状況報告について
- 3 富士見保育園園舎建替え設計・監理業務委託に係る事業者の決定について
- 4 富士見保育園建替え委員会の設置について
- 5 社会福祉法人ベタニヤホーム就業規程の一部改正について
- 6 社会福祉法人ベタニヤホーム再雇用職員就業規程の一部改正について
- 7 社会福祉法人ベタニヤホーム有期契約職員就業規程の一部改正について
- 8 社会福祉法人ベタニヤホーム賃金規程の一部改正について

第4回 令和4年3月23日リモート開催 出席 評議員9人 理事1人

<決議事項>

議案第10号 令和3年度法人本部拠点区分資金収支補正予算（補正第1号）

議案第11号 令和3年度母子生活支援施設ベタニヤホーム拠点区分資金収支補正予算（補正第2号）

議案第12号 令和3年度菊川保育園拠点区分資金収支補正予算（補正第2号）

議案第13号 令和3年度富士見保育園拠点区分資金収支補正予算（補正第2号）

議案第14号 令和3年度こひつじ保育園拠点区分資金収支補正予算（補正第2号）

議案第15号 理事の選任について

議案第16号 令和4年度事業計画及び資金収支予算の承認について

<報告事項>

- 1 令和3年度母子生活支援施設ベタニヤホーム警備業務委託契約の締結について
- 2 富士見保育園園舎建替え設計・監理業務委託契約の締結について
- 3 富士見保育園園舎建替え資金計画及び資金借入の承認について
- 4 社会福祉法人ベタニヤホーム就業規程の一部改正について
- 5 社会福祉法人ベタニヤホーム育児・介護休業等に関する規則の一部改正について
- 6 社会福祉法人ベタニヤホーム賃金規程の一部改正について
- 7 社会福祉法人ベタニヤホーム人事評価制度規程の制定について
- 8 社会福祉法人ベタニヤホーム職員共済会規程の廃止について
- 9 創立100周年記念事業準備委員会活動報告について
- 10 令和3年度賃金規程等検討委員会活動報告について
- 11 富士見保育園園舎建替えについて

- ③監事監査 1回開催(2日間)
- 令和3年5月18日 出席 監事2人 理事長 各拠点職員  
内容 ・令和3年度事業執行状況について監査  
・令和3年度契約・人事・権利擁護に関する監査
  - 令和3年5月25日 出席 監事1人 理事長 各拠点職員  
内容 令和2年度計算関係書類及び財産目録について監査
- ④評議員選任・解任委員会 1回リモート開催
- 令和3年6月8日 出席 評議員選任・解任委員3人 理事長  
内容 次期評議員候補者8人について選任決議

⑤各種委員会等

ア 経営委員会 7回リモート開催

- 委員 綱 春子理事長、川島克之理事、鷺見達也理事
- 主な協議内容

今年度は全回リモートで理事会予定議題の事前確認のほか、下記のような事項について協議を行った。

- ・令和2年度事業報告及び決算、社会福祉充実計画について
- ・富士見保育園建替え設計・監理業者のプロポーザル実施について
- ・施設長及び副施設長昇任考査について
- ・令和4年度事業計画案及び予算査定について
- ・規程等の改正について ほか

イ 施設連絡協議会 11回リモート開催

- 構成員 理事長、各園長・施設長、事務長
- 主な協議内容等

8月を除き毎月定例で実施した。適宜、理事会議案等の確認、各種委員会議題の確認を行ったほか、おもな協議内容は下記のとおりである。

- ・新型コロナウイルス感染症感染予防対策について
- ・各施設における令和2年度下半期苦情等への対応状況について
- ・就業規程、有期契約職員就業規程、賃金規程等ほか関連規則の改正について
- ・今後の職員採用、求人票の作成について
- ・賃金規程等検討委員会の協議について
- ・創立100周年記念事業準備委員会によるアンケート結果の報告
- ・冬季賞与の支給と今後の人事評価について
- ・令和3年度昇任考査の実施について
- ・事務作業の一部外部委託について
- ・人材育成方針と人材育成計画の策定に向けて
- ・ハラスメント防止・対応体制について
- ・ベタニヤホーム職員共済会の位置づけ見直しと積立金の処理について
- ・処遇改善費支給について
- ・令和4年度組織目標、事業計画及び予算作成について ほか

ウ 園長・副園長会 5回開催

各園からの近況報告、保育園担当理事からの報告のほか、下記のような内容で協議、検討、情報共有等を行った。

- ・ 保育園担当理事の業務
- ・ 超過勤務について
- ・ ICTの導入について
- ・ 人材募集方法、インターンシップについて
- ・ キリスト教保育の捉え方、保育内容について
- ・ 事例検討
- ・ 業務委託（体育講師等）について
- ・ 令和4年度の園長・副園長会について

エ 苦情解決第三者委員会 1回リモート開催

- 委員 藤田寿彦、新井尚恵、峯田みどり、下田信二郎、飯村史恵（敬称略）
- 開催日 令和4年1月25日（火）
- 対象期間 令和2年10月1日～令和3年9月30日
- 苦情等対応状況

各施設からそれぞれ案件について報告を行い、各委員から改善に向けての助言、指摘等を受けた。

施設 案件	母子生活 支援施設	菊川 保育園	富士見 保育園	こひつじ 保育園
苦情	1			
意見・要望		3	1	5

● 情報公開

苦情等対応状況及び委員会からの意見や助言を法人及び各施設のホームページに掲載したほか、利用者からの情報開示請求1件について対応した。

オ 賃金規程等検討委員会 7回リモート開催

- 委員 松田繁雄理事(委員長)、川島克之理事(副委員長)、和田真弓理事、各園長・施設長、事務長
- 検討内容

新型コロナウイルス感染症対策として、正規・非正規職員ともに就業支援策としての規定整備の提案をはじめ、保育園3園の勤務時間統一、通勤手当の上限額と支給基準や各種手当の見直し、提案を行った。さらに、明確でなかった採用時の初任給決定基準及び幹部候補者の中途採用基準、前職等経験年数の加算基準の明確にしたほか、格付け基準について規定化を提案した。

このほか、子育て支援策として、新たに部分固定・固定勤務制度の導入、賞与算定期間の見直し、中途採用者の賞与支給の取り扱いの規定化、新たに人事評価制度規程の制定提案などを行い、理事会及び評議員会へ報告した。

カ 創立100周年記念事業準備委員会 11回リモート開催

令和3年度から、各施設から職員が参加して準備委員会を組織し、職員への周知

と参加意識の醸成を目的に、企画・実施した創立100周年記念事業に関するアンケート結果をもとに、創立100周年記念事業の企画と実施方法、具体的企画案について検討を重ねた。

- ・ 創立100周年記念事業に関するアンケートの企画・実施（回収 86件）
- ・ 記念会の実施
- ・ プレ企画の分散実施
- ・ 創立記念の軸（実施年度を令和5年度とした。）
- ・ 各企画実施時期
- ・ 各施設からの提案等

キ 富士見保育園建替え準備委員会 6回開催

建替え準備委員会による設計・監理プロポーザルの提案・実施後、建替え設計・監理業者の決定、設計図面の作成及び国等への補助金申請の江戸川区との事前協議を経て、申請を終えた。令和4年度以降は建替え委員会を発足させ、具体的な建替え工事に関する検討を行いながら、本格的な工事を進めていきたい。

ク 富士見保育園建替え設計・監理業務委託に係る事業者選定委員会

- 委員 綱春子理事長、川島克之理事、鷲見達也理事（以上経営委員）、和田真弓理事（前富士見保育園長）、富士見保育園長

●検討内容

- ・ 10月16日（土） 書類審査（4社）
- ・ 10月22日（土） プレゼンテーション・ヒアリング（4社）
- ・ 10月26日（火） 選定審査（選定結果を理事会へ上程）

(2)法人例規の見直し・整備

- ・ 社会福祉法人ベタニヤホーム有期契約職員就業規程の一部改正（6月）
- ・ 社会福祉法人ベタニヤホーム役員等報酬規程の一部改正
- ・ 社会福祉法人ベタニヤホーム苦情解決第三者委員会規則の一部改正（6月）
- ・ 社会福祉法人ベタニヤホーム経理規程の一部改正（9月）
- ・ 社会福祉法人ベタニヤホーム就業規程の一部改正
- ・ 社会福祉法人ベタニヤホーム有期契約職員就業規程の一部改正
- ・ 社会福祉法人ベタニヤホーム職員共済会規程の一部改正
- ・ 社会福祉法人ベタニヤホーム就業規程の一部改正（10月）
- ・ 社会福祉法人ベタニヤホーム再雇用職員就業規程の一部改正
- ・ 社会福祉法人ベタニヤホーム有期契約職員就業規程の一部改正
- ・ 社会福祉法人ベタニヤホーム賃金規程の一部改正
- ・ 社会福祉法人ベタニヤホーム就業規程の制定（3月）
- ・ 社会福祉法人ベタニヤホーム育児・介護休業等に関する規則の一部改正
- ・ 社会福祉法人ベタニヤホーム賃金規程の一部改正
- ・ 社会福祉法人ベタニヤホーム人事評価制度規程の制定
- ・ 社会福祉法人ベタニヤホーム職員共済会規程の廃止

## 2 職員へのかかわり

### 重点的な取り組み目標に対する実績・成果

具体的な諸課題について、経営委員会、賃金規程等検討委員会及び施設連絡協議会において協議、検討を行い、以下のような取り組み状況である。

#### (1)適正な人事及び労務事務の遂行

##### ①新たな人事評価の試行実施

新型コロナウイルス感染症の流行により、各施設への制度説明など実施することができず、試行についても見送ることとなった。

##### ②職員採用時レクチャー

令和3年4月1日に、令和3年4月1日付で採用発令及び異動発令を行い、同日に新任職員レクチャーを理事長及び事務長が実施した。

##### ③各種人事・労務事務

各種人事・労務事務は適宜処理することができた。

##### ④賞与及び給与等に関する協議

賃金規程等検討委員会において、人事評価結果の反映と職員の賞与及び賃金に関する見直しを行い、賃金規程改正を理事会へ提案し令和4年度の施行が決定した。

##### ⑤施設長、副施設長昇任考査の実施

昇任考査を2月に予定したが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、面接のみ延期した（4月16日実施）。副施設長、主任各1名が合格した。

##### ⑥新型コロナウイルス感染症流行下における労働環境の整備

特別有給休暇など必要な休暇の取得や国の助成制度の申請事務を行った。

#### (2)働き方改革による労働環境の整備

今年度は、子育て・介護を行う職員の働く環境の改善を中心に検討を行った。

#### (3)心の健康維持などへの支援

①メンタルヘルスチェック導入に向けて情報収集と予算調査を行った。

②ハラスメント防止規則に基づくハラスメント防止のための法人内の仕組みづくりを行い、令和4年度から各施設に相談窓口担当者を配置することとなった。

#### (4)職員の状況

##### ①令和3年度末の状況（令和4年3月31日現在）

（単位:人）

拠点 形態	法人 本部	母子生活 支援施設	菊川 保育園	富士見 保育園	こひつじ 保育園	合 計
常勤職員	2 (1)	10 (11)	24 (28)	25 (26)	25 (26)	86 (92)
非常勤職員	0 (1)	3 (2)	14 (14)	7 (7)	10 (9)	34 (33)
合 計	2 (2)	13 (13)	38 (42)	32 (33)	35 (35)	120 (125)

※（ ）は令和2年度実績（令和3年3月31日現在）

##### ②令和3年度新規採用職員

（単位:人）

採用日 拠点	4月1日採用		年度途中採用	
	常勤職員	非常勤職員	常勤職員	非常勤職員
法人本部	0	0	1	0
母子生活支援施設	1	1	0	1
菊川保育園	2	2	1	2
富士見保育園	1	0	1	1
こひつじ保育園	0	1	1	1
合 計	4	4	4	5

③令和3年度退職職員 (単位:人)

退職日 拠点	年度途中退職		3月31日退職	
	常勤職員	非常勤職員	常勤職員	非常勤職員
法人本部	0	1	0	0
母子生活支援施設	0	0	0	1
菊川保育園	4	1	0	1
富士見保育園	1	0	1	0
こひつじ保育園	0	0	1	2
合 計	5	2	2	4

④令和4年度採用職員 (令和4年4月1日付) (単位:人)

拠 点	常勤職員	非常勤職員
法人本部	0	0
母子生活支援施設	0	0
菊川保育園	2	0
富士見保育園	3	1
こひつじ保育園	0	0
合 計	5	1

### 3 地域へのかかわり

重点的な取り組み目標に対する実績・成果

(1)法人の取り組みの周知

①ベタニヤホームだよりの発行・配布

今年度より法人創立100周年に向けての連載記事をスタートさせたほか、ホームページへのバックナンバー掲載を継続している。発行部数 各号810部

②法人全体の事業案内ガイドを作成・配布

富士見保育園新園舎竣工まで見送ることを検討することとした。

(2)地域公益活動への参画、支援

①母子生活支援施設及びこひつじ保育園が行う活動の支援

新型コロナウイルス感染症の流行により、実施しなかった。

②墨田区社会福祉法人連絡会

新型コロナウイルス感染症の流行により連絡会の活動はなかった。

### III 令和3年度の重点的な基盤整備目標と目標達成に向けての具体的な取り組み

#### 1 人材育成

重点的な基盤整備目標に対する実績・成果

##### (1)人材育成プログラムの充実

- ①法人全体での研修・講演会の企画、実施はできず、規程改正に基づく事務研修のみとなった。
- ②今年度も予定していた新たな人事評価制度の試行は実施できなかったが、令和4年度から施行することとし、必要に応じて見直し、検討を行うこととした。

##### (2)人材確保対策の強化

- ①求人情報掲載に必要な予算化を図り、各施設の求人情報の提供を行った。
- ②育児短時間勤務制度の小学校入学までの延長など、子育て・介護を行う職員の働き方に関する規程の見直しを行った。(再掲)
- ③正規・非正規含めて職員の通勤手当の見直しなど規程改正を行った。(再掲)

##### (3)礼拝の場の提供

①イースター礼拝	令和3年4月21日(水) 於 日本福音ルーテル聖パウロ教会 時間を短縮し、昼礼時間にリモートで実施。講演会実施せず。
②法人創立98周年記念会	令和3年9月16日(木) 於 日本福音ルーテル聖パウロ教会 時間を短縮し、昼礼時間にリモートで実施。講演会実施せず。
③クリスマス礼拝	令和3年12月22日(水) 於 日本福音ルーテル聖パウロ教会 時間を短縮し、昼礼時間にリモートで実施。祝会は中止した。
④東京大空襲犠牲者追悼記念会	令和4年3月11日(金) 於 日本福音ルーテル聖パウロ教会 時間を短縮し、昼礼時間にリモートで実施。講演会実施せず。
⑤施設連絡協議会における定例礼拝	日本福音ルーテル聖パウロ教会より小勝牧師を招き実施(基本的にリモート実施)

#### 2 施設整備

重点的な基盤整備目標に対する実績・成果

##### (1)拠点間情報インフラ整備の検討

###### ①サイボウズ等のインフラシステム導入の検討是非の調査・研究

昨年度に引き続き、リモートワーク環境の整備に必要な機器等を導入したほか、インフラシステム(電子決裁機能含め)の今後の導入に向けて起案書様式や決裁権限等について事務研修をビデオ視聴方式で行った。

###### ②電子決裁機能の調査・研究

- ①のとおりであり、令和4年度も引き続き調査・研究を行う。

## (2)富士見保育園の建替え準備事務（再掲）

建替え準備委員会による設計・監理プロポーザルの提案・実施後、建替え設計・監理業者の決定、設計図面の作成及び国等への補助金申請の江戸川区との事前協議を経て、申請を終えた。令和4年度以降は建替え委員会を発足させ、具体的な建替え工事に関する検討を行いながら、本格的な工事を進めていきたい。

## 3 危機管理

重点的な基盤整備目標に対する実績・成果

### (1)法人本部災害対策備蓄品等の整備

水害はじめ大規模災害発生時、法人本部職員が事務局にとどまり業務継続を行う上で必要な備品や備蓄品の整備を図った。

### (2)災害対策マニュアルの検討・作成

今年度も検討及び作成は行えず情報収集のみとなった。

## IV 令和3年度特筆すべき取り組み、事業及び予算

取り組みの内容と予算の執行状況

取り組み	内 容	執行額	予算額
(1)常務理事の設置準備	役員報酬支出に半年分を計上したが、未設置のまま未執行（301,000円）となった。	2,263,000 円	2,404,000 円
(2)法人本部人員体制の強化	令和3年10月より新たに常勤職員1名を採用し、非常勤職員1名を減じた。	7,768,410 円	8,007,000 円
(3)職員内部研修の企画・実施	新型コロナウイルス感染症拡大により、給与システム、会計、事務研修等を除き年度内の法人研修を見送った。	175,500 円	271,000 円
(4)本部事務局移転の終了	法人本部移転完了により、当該予算を皆減し、災害対策用備品等及びリモート用PC等を購入した。（流用後）	774,802 円	775,000 円
(5)ICT化の推進	理事長とのリモート会議、ハイブリッド会議のためのWi-fi通信機器及び通信料、Zoom利用料等を支出した。	498,406 円	518,000 円



## 令和3（2021）年度 母子生活支援施設ベタニヤホーム 事業報告

### I 令和3年度の施設運営方針に基づく取り組みの成果と課題について

令和3年度も引き続き新型コロナウイルス感染症への対策が求められた一年であった。新型コロナ対策として補助金を利用した様々な対応を行うとともに、事業運営上何を優先するかを検討し、対応プランを策定してきた。しかしながら、利用者と職員に感染者が発生することとなった。このような状況下での1年であったが、それでも退所者や地域で暮らすひとり親母子家庭への公益的活動としても位置付けている食支援を展開できたのは職員の努力以外の何物でもなかった。社会的養護中長期計画の策定や職員の研修受講は全く予定通りには進められなかったが、感染症への対策の中で多くの職員が生活困窮世帯の現状を知ることになり、アフターケア件数は235件、前年度比増加率は297%増を示したことが令和3年度の特徴であった。

### II 令和3年度の重点的な取り組み目標と目標達成に向けての具体的な取り組みや事業

#### 1 子どもへのかかわり

重点的な取り組み目標に対する実績・成果

##### (1)学童支援（人権擁護・主体性醸成・インケア、アフターケア充実）

緊急事態宣言等により学童活動が集団で行えない期間があった。その際には個別対応に切り替え、時間を分けて実施した。個別対応においては、アセスメントシートを基に支援方針を決めたうえで、子どもの意向に沿った自立支援計画票を策定し支援を行うことで子どもの特性に合わせた支援を展開することができた。

学童行事では防災学習や防犯学習を通して、SNSを利用するうえでのトラブルを学び、実際の生活に役立つ知識を身に付けることに寄与した。またプランター栽培や子どもとの話し合いの場を通して子どもが主体となって関わる機会を多く取り入れた。退所児童には定期的な食支援を通じて様子を把握した。遠方に退所した児童にはオンライン面談を行った。

##### (2)乳幼児支援（人権擁護・主体性醸成・インケア、アフターケア充実）

就労上の理由や母親のレスパイト、また新型コロナウイルス感染者発生による保育園の休園等様々な理由での施設内保育や補助保育を実施した。解熱後24時間を過ぎていないため登園が認められない子どもには病後児保育を実施した。

子どもが登園している保育園と連携し、オンラインで合同カンファレンスを開催した。保育園入園・転園手続きの言語理解や内容理解に難がある母親へは記入補助を行った。行事では緊急事態宣言等により遠足を中止したが、親子行事は世帯毎に実施し、日頃の母子関係をアセスメントするとともに、母親から子育ての悩みを聴き支援に活用した。

##### (3)心理的支援（人権擁護・主体性醸成・インケア、アフターケア充実）

前年度に引き続き、学童活動や保育へも積極的に参与し、アセスメントを行い、プレイセラピーを実施した。

多職種との連携を継続的に行い、コンサルテーションの充実を図った。

アフターケアに関して、個別支援に繋がる心理プログラムを模索し、次年度の食支援への参画準備を行った。

## 2 保護者へのかかわり

重点的な取り組み目標に対する実績・成果

### (1)母親支援（人権擁護・主体性醸成・インケア、アフターケア充実）

養育への支援については、離乳食や夕食作り、清掃等、生活に入った支援を個別に行った。母親の主体的活動は感染症の影響で延期となった行事もあったが、就学児世帯向けにはオンラインで『スマホ・ケータイ安全教室』を、未就学児世帯向けにはアンケートによる子育てへの意識調査を行った。また、ガーデンニング係を新たに立ち上げ、就労や通院に繋がっていない母親が日中施設内で活動できる場を設けた。昨年度から開始した『カレーの日』は、令和3年度では6～8月を除いて通年で実施し、母親もカレー作りに参加することができた。関係機関との連携においては、入所前までの流れの図示化とインテークシート作成を行い、関係機関との間で効率的に課題整理や支援方針の共通理解を図れるようにした。

### (2)心理的支援（人権擁護・主体性醸成・インケア、アフターケア充実）

入所前のインテーク面談に心理職が同席し、利用者の特性を見立て、想定されるリスク、心理ケアの有無及び方法を検討したうえで、利用者個々に合わせた支援を早期に始動するための情報提供をC.C等で行った。

利用者の精神科・心療内科通院には、服薬状況や精神疾患の症状把握を行うため同行した。同行しない場合は、通院状況や処方薬、症状の確認を行った。

アフターケアに関して、個別支援に繋がる心理プログラムの模索し、次年度の食支援への参画準備を行った。

## 3 地域へのかかわり

重点的な取り組み目標に対する実績・成果

### (1)江東橋五丁目との協働

祭りは中止となったが、年末夜警に職員8名が参加した。また、子ども会総会、及び町会イベントのそれぞれ1階ずつ地域交流ホールの利用があった。

### (2)食支援（公益活動）の展開

### 【パントリー・食支援】

新型コロナウイルスの感染に十分配慮をした上で、退所者向けパントリーを6回開催、のべ67世帯（167人）利用。退所者に向けての食支援を通して、アフターケア相談件数が増加した（235件、前年度比297%、再掲）。地域向けパントリーは2回開催、のべ18世帯（48人）利用。食品確保は、前年度までのNPO、すみだ清掃事務所、墨田区社協および今年度から助成金を受けた全国食支援活動協力会を中心に寄贈団体・個人も広がった。アウトリーチによる食支援は17回（内パントリーとして9回）行った。

### 【食支援ネットワーク】

墨田区社協を通じた7団体および救世軍こども食堂ともつながり、提供された食品はベタニヤホームを加えた9団体で主に配布（合計約1745Kg+1952食分以上）。ネットワークミーティングを2回（11月・3月）開催し、2回目には墨田区行政からオブザーバーで参加を得ることができ今後の地域づくりへの足掛かりになった。

### (3)職員資質向上、及び福利厚生の実現

研修はほぼオンライン化されたが、施設内研修は可能な限り対面で実施する予定だったため、研修が予定通りに実施できなかった。福利厚生では職員の身体的、精神的な健康こそが最大のリスクであるとの事業継続上のリスクとして位置づけ、人間ドックの受診を勧め、多くの職員が必要な各種検査を受けた。

## III 令和3年度の重点的な基盤整備目標と目標達成に向けての具体的な取り組み

### 1 人材育成

#### 重点的な基盤整備目標に対する実績・成果

(1)母子生活支援施設に求められる支援サービスが展開できる支援スキルの獲得（レジデンシャルソーシャルワーカー）

施設独自OFF-JTの研修で実施できたのは、乳児院実地研修のみであり、期間も短縮化された。専門研修は実施できなかった。外部機関主催の研修はオンラインが主となったが開催された研修には参加した。

(2)他領域の事業に関心を持ち、アプローチ、コミュニケーションできる人財の育成（ジェネラリストソーシャルワーカー）

今後、様々なパートナーと事業を展開するためのプレゼンテーションやコミュニケーションの学びを得るために、東京ボランティア・市民活動センター主催研修（オンライン）に参加した。また研修ではないが多くの企業からのボランティアを受け入れ、オンラインでのボランティアアクションを実施した。

(3)社会の動向に関心を持ち、地域社会と共に地域づくりができる人財の育成（コミュニティソーシャルワーカー）

全国母子生活支援施設研究大会や関東ブロック研究大会がオンライン化されたため、知識や情報としては得られたが、地域づくりをしていくことに対する思いを直接他施設の職員から聞くことができなかった。ただし12月には九州3県の施設を訪問し、新たな母子生活支援施設ベタニヤホーム像を検討し、100周年に向けた新規事業を検討した。

## 2 環境整備

### 重点的な基盤整備目標に対する実績・成果

修繕等建物維持にかかる計画/感染症予防/施設内清掃

竣工後、1年経過したため、施工管理者・施工業者と打ち合わせを行い、施設1年点検を実施した。

感染症予防については、朝、昼2回の職員による施設内消毒と利用者には玄関先に足踏み式消毒スタンド、非接触検温器を設置した。

施設内清掃は月2回、清掃日を設け実施した。また外部の社会福祉法人に1階地域交流ホールの清掃業務を委託した。

## 3. 危機管理

### (1)新型コロナウイルスへの対応

対応マニュアルの整備を行い、施設内陽性者発生時の対応プランを策定した。職員に対しては、感染拡大を予防するため、在宅勤務や臨機応変な勤務体制を構築した。ワクチン接種に関しては希望者全員が接種できるように計画を立て、実施した。

### (2)江東5区母子生活支援施設防災連絡協議会の参加、及び事務局の受任

オンラインによる情報交換会を1回開催した。参加施設には寄付された非常食の配布を行った。令和4年度もベタニヤホームにおいて会長と事務局を受任した。

### (3)水害対策

年度初めに台風タイムラインの見直しを行った。上陸の恐れのある台風に関して、前日までに飛来物となる可能性のある物品の撤去や土のう設置等の計画的な対策を講じた。

### (4)地震対策

マンホールトイレの設置訓練を計画していたが、職員参集による感染をリスクを鑑み実施には至らなかった。

事務所内、緊急一時保護室内の転倒の恐れがある什器類に転倒防止措置を講じた。

### (5)火災防止

従来の参集型の避難訓練は新型コロナウイルス感染のリスクがあるため実施せず、個別の避難訓練を実施した。消火器の使用方法について動画を視聴し居室内の取り出しやすい場所に置くことを促した。

#### (6)防災教育への取り組み

月次の避難訓練では災害時の衛生管理を主として実施した。利用者の多くが口腔ケアや体の清潔を保つことの必要性について理解することに繋がった。学童児は防災学習を通じ、災害時の身の安全確保を学んだ。

### IV 令和3年度特筆すべき取り組み、事業及び予算

#### 取り組みの内容と予算の執行状況

取り組み	内 容	執行額	予算額
(1)職員の資質向上	III.1に詳述	350,000 円	研修研究費 1,300,000 円
(2)公益活動の推進	<p>【食支援】 II.3（2）に詳述 退所者向けでは、コロナ陽性で外出できなくなった1家庭に食品を届けるアウトリーチを1回おこなった。また、地域向けパントリーの中から、1世帯について相談支援に結び付き、現在施設利用開始に向けて動いている。</p> <p>【地域交流ホール貸出し】 【里親支援】 共に、コロナ禍の影響が大きく、利用はホール貸出し1件にとどまった。里親支援については情報収集を図りながら準備を整えた。</p>	4,013,120 円	器具取得費等 4,013,120 円
(3)風疹・麻疹対策等健康管理充実	風疹・麻疹の予防接種は、新型コロナワクチン接種計画を優先したため、接種しなかった。職員の健康管理充実については、職員のホームドクター確保と並行した健診の助成を実施し、法定健診以外の各種検査を多くの職員が受診した。	440,000 円	福利厚生費 940,000 円

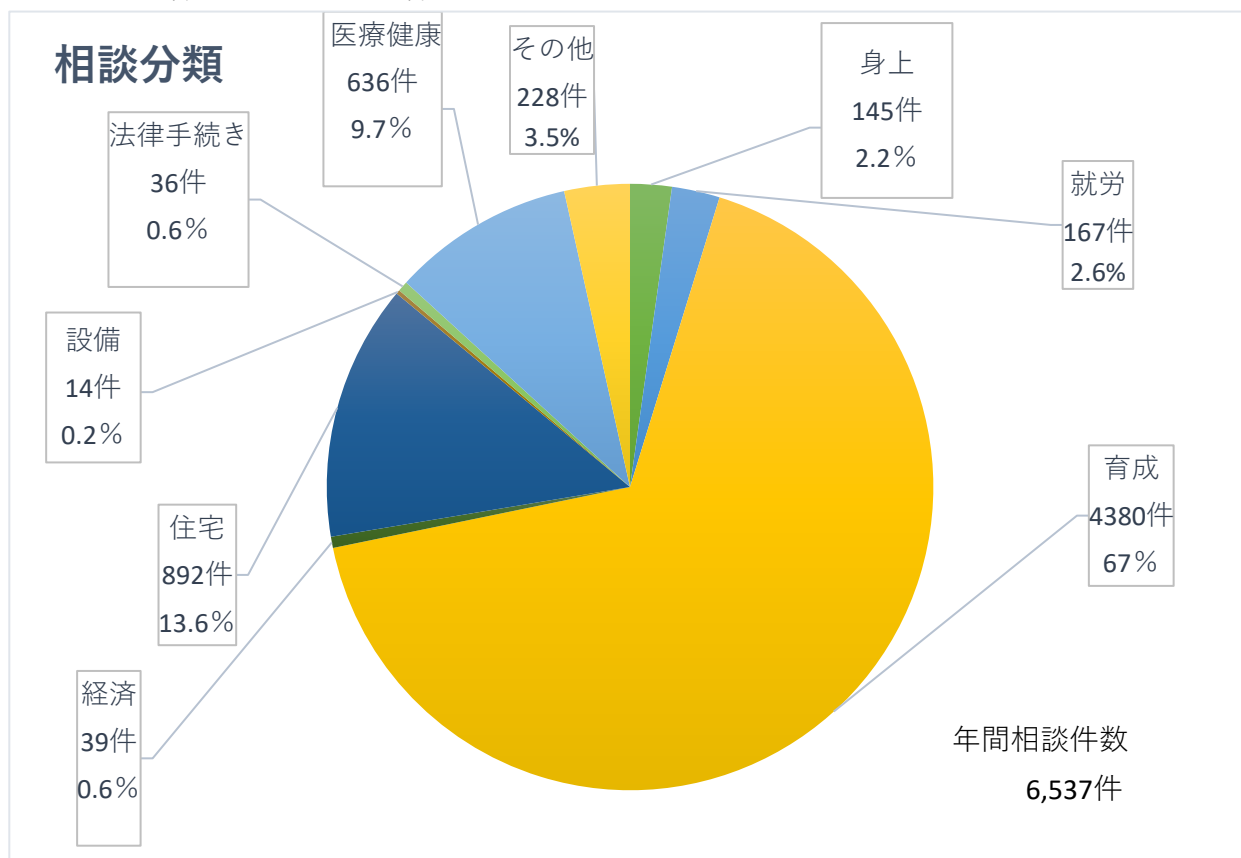
(4)学童及び乳幼児の個別活動化	防犯学習やチャレンジDAYなど子どもの年齢や成長に応じた行事を個別又は小グループで実施した。 乳幼児の親子行事を世帯毎で実施した。	930,000 円	教育指導費 1,570,000 円
(5)施設内行事の個別化実施	新型コロナウイルス感染状況に応じながら小グループまたは個別（世帯ごと）の行事を開催した。「母子ハイク」では「利用者の意思表示」ができる機会を設定し、来年度の行き先を利用者が決定した。個別で開催した「母の日お祝い会」と「成長お祝い会」では、世帯ごとで行われた行事だからこそ、他者との関りが苦手な利用者でも参加しやすく、職員は日常では見られない親子間の様子をアセスメントすることができた。	220,000 円	教養娯楽費 870,000内 500,000 円
(6)法人100周年に向けた取り組み	法人100周年準備委員会に計11回、出席し、座長として準備委員会をとりまとめた。法人職員へのアンケートを実施し、法人100周年に向けた取り組みを周知した。それと平行して施設でも100周年委員会を立ち上げ、施設100周年に向け、100周年ステッカーを作成し、関係者に配布し、PRした。	19,000 円	印刷製本費 80,000 円

V 令和3年度各種実績報告

1 利用者相談件数

年間相談件数：6,537件

相談内容内訳：上段：内容 中段：件数 下段：割合

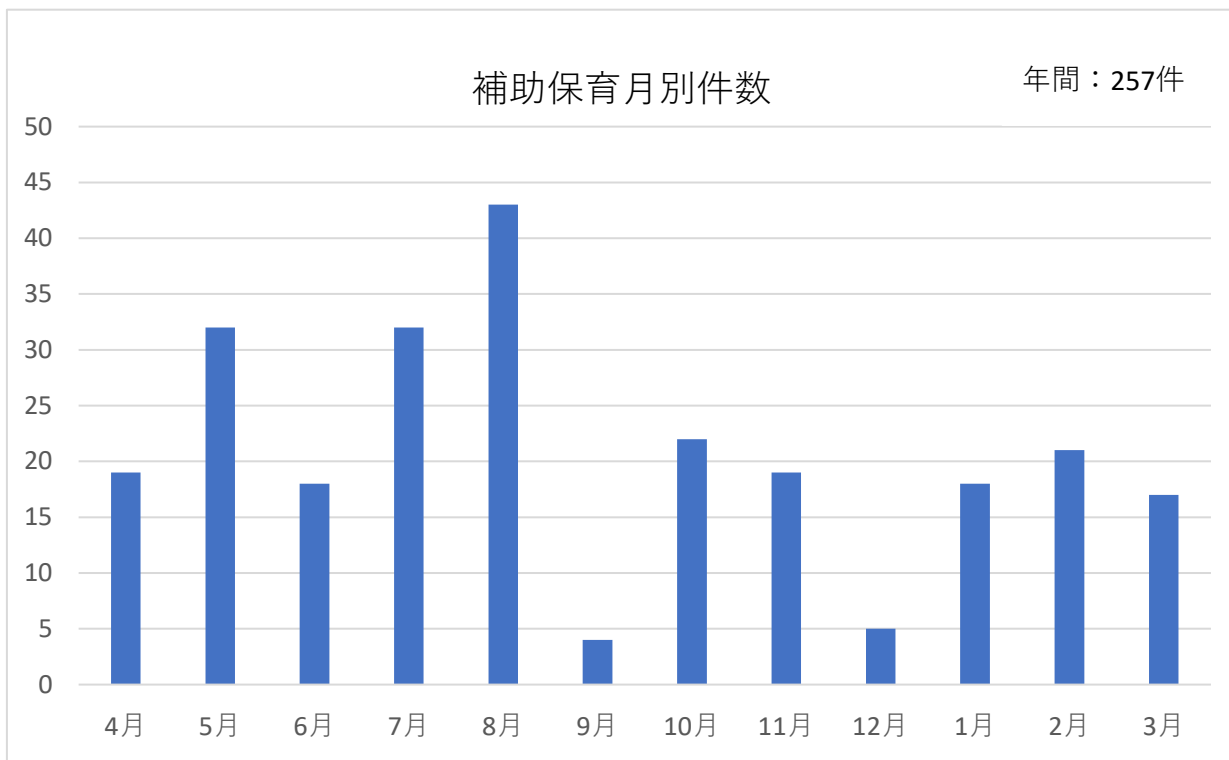


2 心理ケア実績

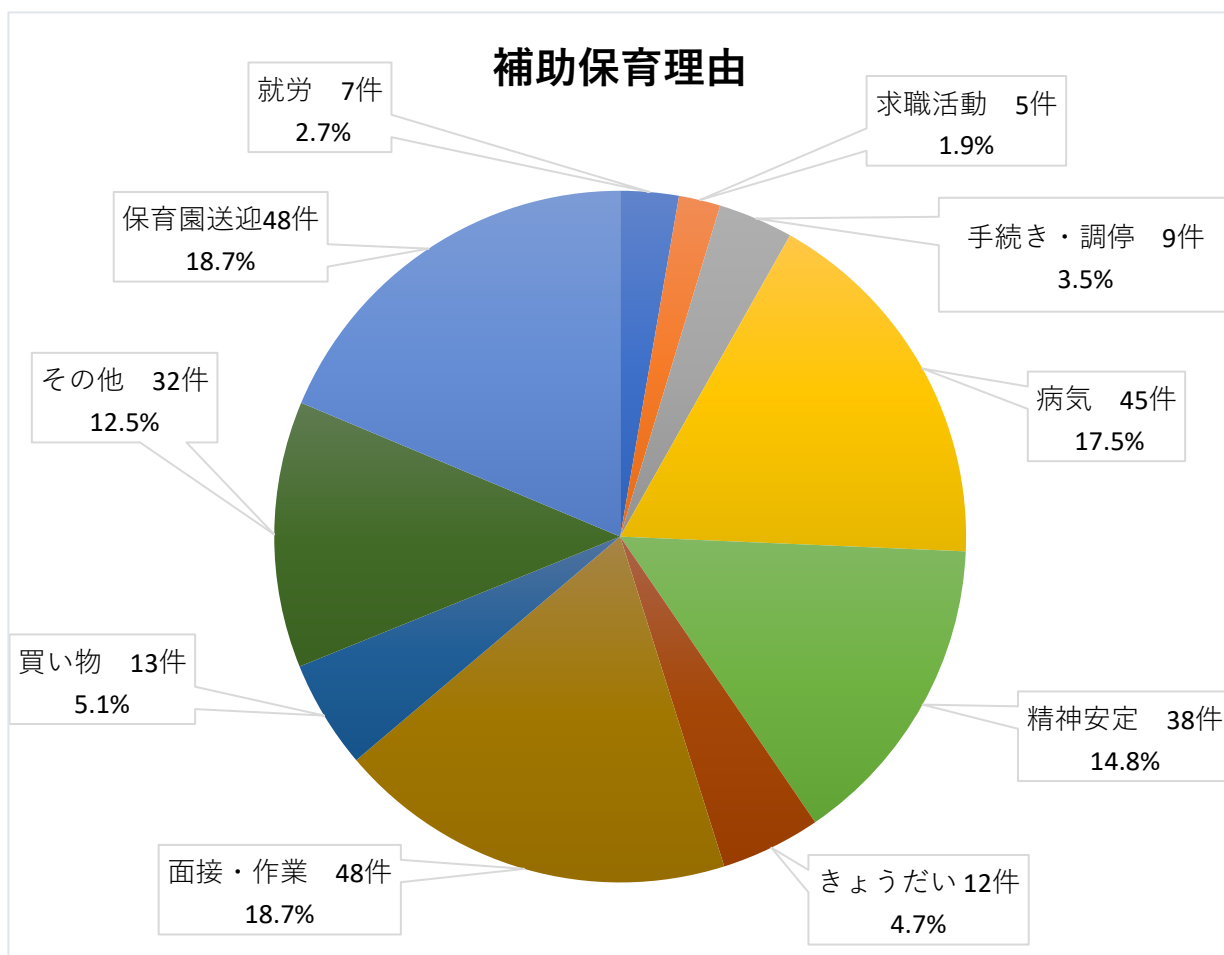
心理ケア年間件数：390件

	心理療法	生活場面面接	助言	会議
4月	9	1	0	14
5月	7	3	1	5
6月	6	3	0	6
7月	8	5	0	6
8月	4	3	0	4
9月	0	0	0	0
10月	0	13	1	22
11月	3	26	0	19
12月	5	18	2	27
1月	5	22	1	17
2月	7	25	0	15
3月	9	62	0	6
合計	63	181	5	141

3 保育実績



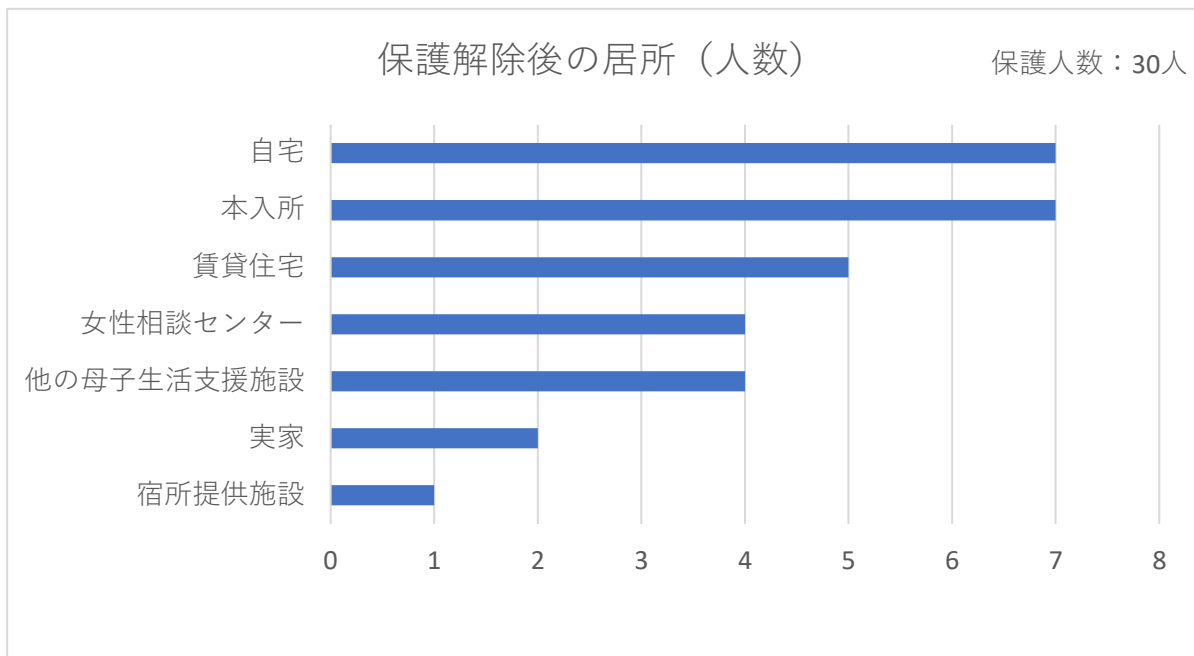
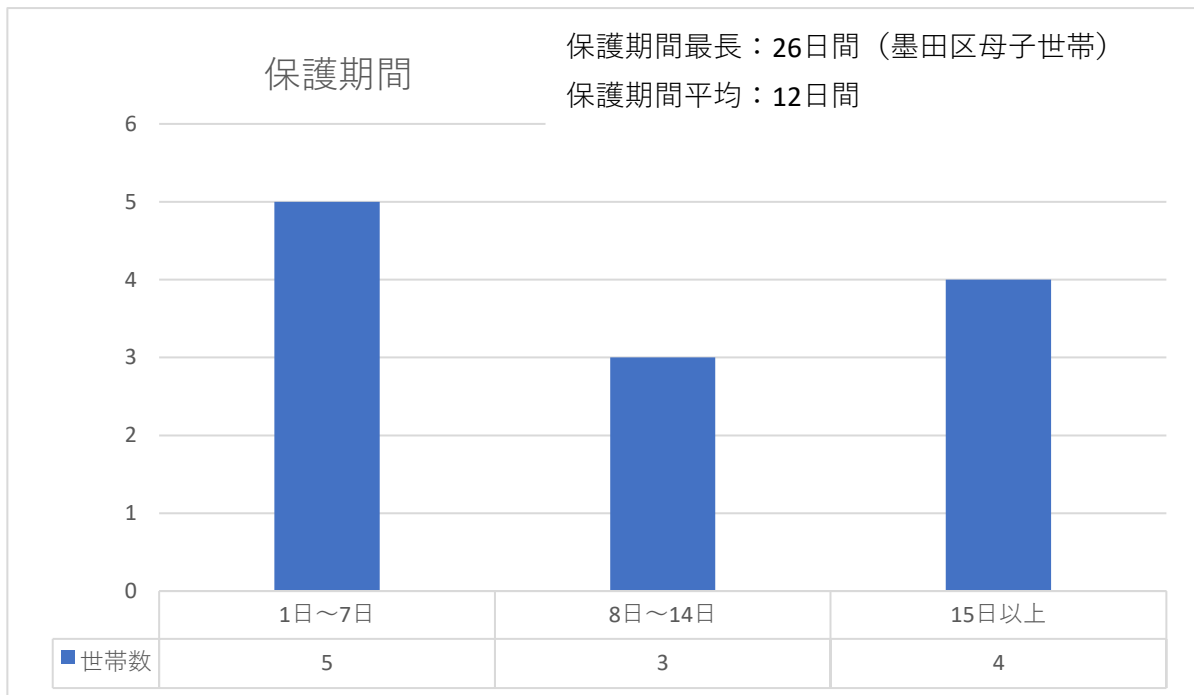
補助保育理由：上段：内容 中段：件数 下段：割合





#### 4 緊急一時保護利用実績

区ごとの利用実績（世帯）			緊急一時保護理由（世帯）		
	母子世帯	単身世帯	合計		
墨田区	5	3	8	DVからの避難	8
中央区	2	0	2	居所なし	1
文京区	2	0	2	ストーカー被害対策	1
その他	0	0	0	母子再統合のための経過観察	1
年間実績			12	生活環境改善	1



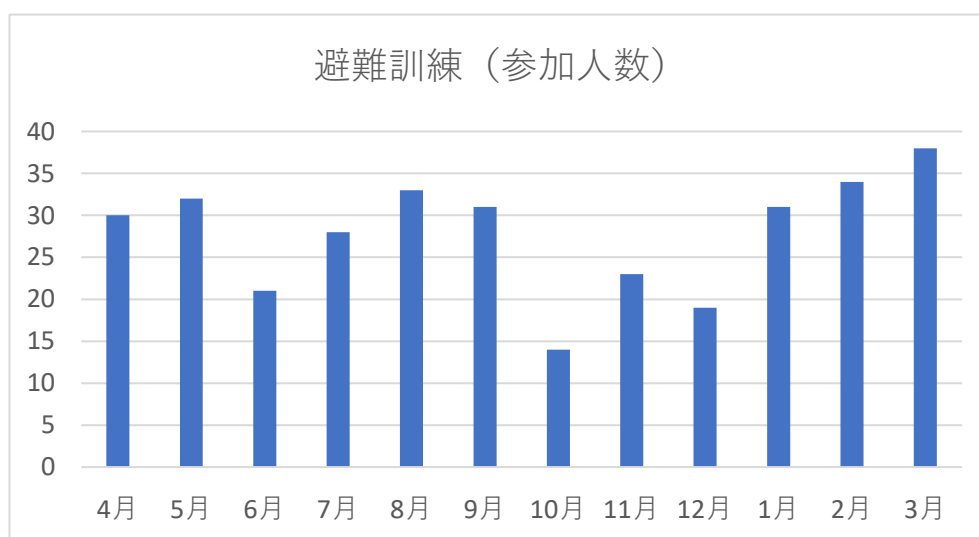
5 研修一覧

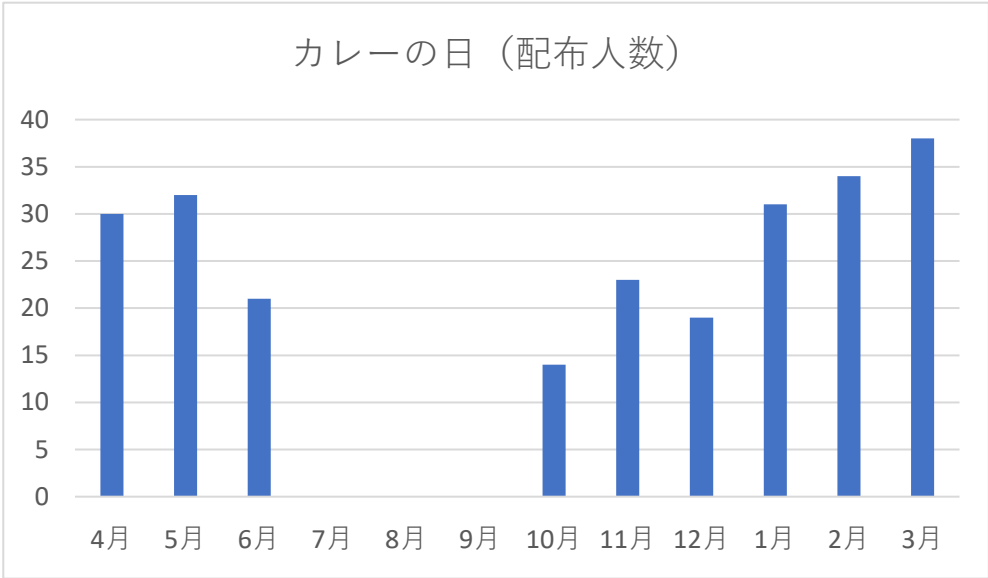
日付	人数	研修名	主催		
6	2	1人 子どもの「依存」する心理 (OL受講) ※OL…オンライン (以下同じ)	公益財団法人明治安田こころの健康財団		
	25	2人 新任職員研修 (OL研修)	社会福祉法人東京都社会福祉協議会		
	30	1人 面会交流、養育費の現状と支援のあり方～子どもの幸せのために～	東京都ひとり親家庭支援センター はあと		
7	3	5人 社会的養護と家庭支援をつなぐ～児童福祉法改正を展望して～ (OL受講)	損保保険ジャパン株式会社		
	8	1人 関東ブロック母子生活支援施設研修 (OL開催)	関東ブロック母子生活支援施設協議会		
	16	1人 アルコール依存症について理解し支援に活かす	東京都立精神保健福祉センター		
		1人 支援力アップ塾オンラインカフェ×施設ボランティアコーディネーター研修 (OL開催)	東京ボランティア・市民活動センター		
21	1人 乳幼児のこころと子育て～すこやかな成長・発達のために～	公益財団法人明治安田こころの健康財団			
8	31	1人 子育てワークショップ子ども・家庭への援助者としての「わたし」～出会いを結び働きかけと日常生活支援～ (OL開催)	日本キリスト教児童福祉連盟		
9	1		3	1人 子育てワークショップフォローアップ研修『専門性をより高めるために』 (OL開催)	日本キリスト教児童福祉連盟
	14		1人 ITセキュリティ/リテラシー「はじめの一歩」ユーザーの安心・安全変 (OL開催)	特定非営利活動法人ライツオン・チルドレン	
11	3	1人 新宿区養育家庭 (里親) 体験発表会	東京都福祉保健局		
	6	2人 墨田区養育家庭 (里親) 体験発表会	東京都福祉保健局		
	8~19	1人 全国母子生活支援施設協議会：全国母子生活支援施設研究大会 (OL開催) (閲覧期間)	全国母子生活支援施設協議会		
	19	2人 令和4年度 東社協 母子福祉部会 施設長・従事者合同研修会 (OL開催)	関東ブロック母子生活支援施設協議会		
	25	1人 第6回 相談支援員研修会『(最新の)離婚前後の法律手続き・法律知識 (OL開催)』	東京都ひとり親家庭支援センター はあと		
	28	1人 葛飾区養育家庭体験発表会	東京都福祉保健局		
12	2	1人 東京ウィメンズプラザ 相談員のための性暴力被害者支援研修～性暴力被害者の適切な支援のために～ (OL研修)	東京ウィメンズプラザ		
	7	1人 東京ウィメンズプラザ 職務関係者研修(第3回) (OL研修)	東京ウィメンズプラザ		
	14	1人 「発達障害の子どもたちの理解と対応」(社会的養護処遇改善加算対応研修) (OL開催)	東京都社会福祉協議会		
	17	1人 東京ウィメンズプラザ 職務関係者研修(第4回)～配偶者暴力(DV)と子供～児童虐待との関係 (OL研修)	東京ウィメンズプラザ		
	17	2人 「ひとつじゃないよ、家族のかたち」里親体験発表会 (江東区)	東京都福祉保健局		
	22	1人 「社会福祉法人・事業所における広報・情報発信を考える～コロナ禍での広報活動とは何か～ (OL開催)	東京都社会福祉協議会		
2	3	1人 外国籍の子どもへの学習支援について (OL開催)	母子福祉部会従事者会		
	26	1人 第26回 全国地域福祉施設研修会 共生にあゆむとは (OL開催)	日本地域福祉施設協議会		
	18	1人 令和3年度ファミリーソーシャルワーク研修 (OL開催) (閲覧期間)	社会福祉法人全国社会福祉協議会		
3	10				
3	1	1人 相談員・職員のための実践講座「トラウマというメガネから見えるもの」 (OL開催)	東京ウィメンズプラザ		
	8	1人 保健・医療関係者におけるDV被害者の理解と適切な対応及び、仕組み作りに向けて (OL開催)	東京ウィメンズプラザ		
	11	1人 東京ウィメンズプラザ DV被害者支援の基礎知識 (OL開催)	東京ウィメンズプラザ		

## 6 全体行事内容、実績

2021年度 行事			
行事名	日時	内容	参加者数
母の日お祝い会	5月15日	世帯ごとと居室の前にて子が事前に準備した手作りのプレゼントを母親へ渡した。その後、日頃の感謝の気持ちを書き記した手紙を母親へ読んだあと、親子の記念撮影を行った。	母…12名 子…16名
TRY！TRY！TRY！	9月25日	二つの会場に分かれて、母親は「キャベツの千切り」、学童は「小豆つまみ」、幼児は「積み木の積み上げ」をそれぞれ競った。競技終了後は、鉄板を使用して各世帯ごと目の前で焼きそばを調理し、それぞれ居室に持ち帰り食した。	母…10名 子…13名
母子ハイク	11月27日	3グループに分かれて、職員が作成した「マザー牧場」と「鴨川シーワールド」の動画を視聴し、来年度のパスハイクはどちらにいきたいか、最初は世帯ごと、次にグループごとで話し合った。多数決の結果、「マザー牧場」となり、来年度の母子ハイクの行き先が決定した。	母…12名 子…17名
クリスマス会	12月21日	2グループに分かれて教会へ行き、礼拝に参加した。おごそかな雰囲気の中、非日常的な経験を体験した利用者は、後日、「貴重な体験ができた」とアンケートに数名の方が回答していた。礼拝終了後、「ごろねの国」から寄贈されたパンと職員の手作りスープを一緒に利用者へ渡した。	母…13名 子…18名
成人を祝う会	1月15日	昨年と今年、成人を迎える退所児童と元職員に案内状を送付し、4名の退所児童と3名の元職員が参加した。それぞれ自己紹介を行ったあと、スライドショーを視聴し施設見学を行った。入所していた頃のエピソードや現在の状況について話す場面が見られた。最後に、地域のパンをお土産に渡すと懐かしがり大変喜んでいた。	退所児童 4名
成長お祝い会	3月22日	新入学を迎える世帯は、世帯ごと10分程のセレモニーを行った。施設からお祝いの品を渡し、母親から子へ手紙を読んで渡した。進級世帯は、全職員からのお祝いのメッセージが飾られた場所の前で世帯ごとに分かれて、母親から子へ、職員からの手紙を母親へ渡した後、親子の記念撮影を行った。	母…15名 子…23名

## 7 消火避難訓練、カレーの日実績（緊急事態宣言中は実施せず）





## 令和3（2021）年度 菊川保育園 事業報告

### I 令和3年度の施設運営方針に基づく取り組みの成果と課題について

- ・新型コロナウイルス感染症の流行は収まらず、日々の感染防止対策を行いながら、その中で折り合いをつけて「出来ない」ではなく「今出来ること」を探り、検討しながら実施していった。また1月からの感染症の増加により、保健所では対応しきれず 園内の濃厚接触者判断が施設に委ねられるなど、更に責任が伴ってきている。保護者にもその都度「コロナ感染情報」としてメールで知らせ、注意喚起してきた。
- ・職員のペア制度は、お互いが育ち合うきっかけにもなっており、話しやすい、意見を出しやすい環境にも繋がっている。日々の保育においても職員の気付きや意見が検討のきっかけとなって、より良い方向が示された。（リモートでのクラス交流会、小人数で行う行事、来られなかった保護者に向けて動画配信、など）
- ・年度末の退職者はいなかったが、年度途中退職者の充足が出来なかった（保育士2名、看護師1名（1～3月））。職員の協力と理解（せざるを得ない状況）の中、園全体での負担となった（採用活動の見直し必要）。  
入園説明会、新入園児面接、地域活動などリモートも利用し好評だったが、準備対応できる職員に限られていた。職員のスキルアップとWi-Fi環境整備に努めたい。
- ・予定していたが出来なかったこと、十分に成果が上がらなかったこともあるので、今後も引き続き課題として検討していく。

### II 令和3年度の重点的な取り組み目標と目標達成に向けての具体的な取り組みや事業

#### 1 子どもへのかかわり

##### 重点的な取り組み目標に対する実績・成果

##### (1)神様の愛と恵みに感謝する

- ・礼拝や日々のお祈りの時間、行事を通して感じ取れるようまた、小勝牧師に、生活の中での気づきや姿を伝え、聖話の中に取り入れて頂く。一人ひとりと丁寧に向き合い、様々な経験を一緒に分かち合うことで「愛されている」という想いを育んだ。

##### (2)子どもたちが主体的に生活する保育

- ・育児担当制を継続し、子ども一人ひとりを丁寧に見守ることが出来た。発達を把握し、気になる子どもは心理相談へ繋げたり、保護者の協力を得られるように関わりを配慮した。家庭や専門機関と連携しながら育ちを見守った。
- ・子どもの気づきから環境を整え、子ども自身が自分で考え選択、決定を重ねる経験をする中で、主体性が育っていった。

##### (3)異年齢保育の取り組み

- ・感染症対策を行いながら、少人数での交流を無理のない範囲で行った。又、幼児3人組での活動や、幼児が乳児クラスへ届け物をする等、お互いに棟を行き来する関わりも意識して行った。

##### (4)遊びから得る学びを大切にする保育

- ・遊びから見える子どもの育ちの背景や興味を共有しながら『遊びこめる』ことを大切にし、環境設定から子どもの学びへとつながるように配慮した。

#### (5)食育

- ・きのこ栽培や、プランターを活用した野菜・果物栽培による収穫の喜びを体験し、給食に取り入れることで食への興味、関心を深めることが出来た。又、給食職員が子ども達の前でジュース作り、皮むきも行う。食材を間近で見られる機会を設けたり、栄養士による栄養指導（食材の持つ働き）を行った。
- ・誤嚥しやすい食材について職員全体で話し合い、食材や調理法を変更する一方、乳児は咀嚼につながる食材の切り方に変え、手づかみ食べも出来るようにした。また、油分やチョコレートの扱いなど離乳食の発達に適した食材の見直しを行った。

#### (6)身体機能の発達を促す身体づくり

- ・子ども達の発達課題を講師に伝え、発達を促す運動を取り入れた。又、日常的に遊びの中でも活動を取り入れたことで、子ども達の健やかな成長につながった。

#### (7)幼保小中一貫教育

- ・以前より 幼保小中の連携協議会にて提案していた学校紹介のDVDを視聴し、就学へのイメージとつながった。関連の会議には出席し、連携を図った。

## 2 保護者へのかかわり

### 重点的な取り組み目標に対する実績・成果

#### (1)園の保育方針、保育の取り組みを保護者に向けて発信

- ・子ども達の学びの過程をドキュメンテーションで掲示したり、HPを活用して動画を配信する等日々の保育を発信した。
- ・噛みつきやひっかきについて、子ども理解のためにお便りを配布した。
- ・保護者の会から寄せられた質問について話し合い、お答えした。

#### (2)保護者支援

- ・コロナ禍だからこそ、不安な保護者の思いを汲み取り、感染対策をしっかりと講じた上で、個人面談を実施。直接話し合う機会を持つ。
- ・要保護児童、ひとり親家庭、精神疾患、育児不安を抱えている保護者に対し、様々な状況を会話や連絡帳、表情などから出来る限り読み取り、機関と連携を取り合った。また、登園時の様子はしっかりと把握し、気になる箇所は写真や状況を記録し、少しの変化でも職員間で情報を共有していった。
- ・要保護児童の各担当者(江東児相、墨田区子育て総合支援センター)との連携を図りながら保護者、特に母親との対応を丁寧に行った。

(月平均 児相1名 センター1.5 /3月に於いて 児相1名、センター5名)

#### (3)保護者同士のつながり、育ち合い

- ・オンライン上でクラスの交流懇談会を行い、お互いを知り、コミュニケーションの糸口やきっかけをつくれるように配慮した。

## 3 地域へのかかわり

### 重点的な取り組み目標に対する実績・成果

(1)世代間交流の継続と地域に向けての情報発信

- ・ 保育園での子どもの様子を園だより等で知らせたり、季節のカードを送り、継続した関わりをもった。
- ・ 散歩コースや現地にて挨拶をすることを心掛け、日ごろから地域との繋がりを身近に感じられている。

(2)地域の子育て支援

- ・ QRコードやメールの申し込みを取り入れたことで参加者が増えた。(16+2名) 体験としての散歩参加等、育児不安解消の手助けとなったことを実感した。
- ・ オンライン講座を開催。ベビーマッサージや育児相談の場を設けた。

(3)つながりのある居場所づくり

- ・ 一人20分を目安に、園見学や活動内容を伝える場を設けた。

(4)一時預かり保育

- ・ 現状では行っていない。

III 令和3年度の重点的な基盤整備目標と目標達成に向けての具体的な取り組み

1 人材育成

重点的な基盤整備目標に対する実績・成果

(1)職員の意識改革

- ・ 日々の保育の中で気になったことや子どもの姿について伝え合い、発言しやすい雰囲気がつくられ、子ども理解につながった。

(2)職員の育成

- ・ ペア制度を継続し、より相談しやすい環境になった。
- ・ サポートの必要な職員がいる時はお互いが助け合い、協力する事が出来た。
- ・ 副主任の仕事に対して役割分担を具体化するための話し合いを設け、明確にし、次年度に向けて業務の効率化を図った。

(3)園内研修

- ・ 職員の専門性を活かした『おもちゃの片づけ方』の園内研修を実施し、保育の考えを深めた。次年度に向けて職員全員にアンケートをとり、要望を踏まえた研修計画を立てていく。
- ・ 園内研修とは別に午睡時間を活用し、リモートによる講座を設け、発達についての自主研修を行った。
- ・ 保育者の身体を守り、子どもの発達につながる『おんぶ・抱っこの仕方』を園内研修で準備していたが、コロナのため次年度に延期となった。

(4)働き方改革

- ・ 補充職員の調整をし、各クラスの事務処理時間確保に努め、業務の効率化を図った。
- ・ 希望の休暇を年間で申請し、有給取得率に反映した。
- ・ おたよりの文章を職員全員がPCで打ち込むなど、苦手意識を克服し、IT作業をすすめている。
- ・ 行事準備など事前に決まっている業務は分担し、スムーズに準備が出来た。

### (5)育成支援

- ・中高生の職場体験が中止される中、学校の休暇期間を利用し、育児体験の場を設けたことで、7名の参加があり、進路選択の幅を広げることにつながった。また、実習生9名の受け入れを行った。

## 2 施設整備

重点的な基盤整備目標に対する実績・成果

### (1)計画的な建物修繕

- ・空調機整備及び空調機器フロン漏洩点検（にじ棟）
- ・防火シャッター修繕及び バッテリー交換

## 3 危機管理

重点的な基盤整備目標に対する実績・成果

### (1)保育保健及び保健衛生

- ・看護師により該当クラスにエピペンの使用方法を伝えた。今後エピペン研修を行い、全職員で共通理解をしていく。
- ・怪我については「ぶつける」「すりむく」など、通年の傾向と同様だった。感染症対策として戸外活動の規制があり、散歩中の大きな怪我などは無かった。
- ・看護師の専門分野を活かして個別対応が必要な子どもに向けて、嘱託医に相談し、保護者が気付きをもてるよう働きかけた。

### (2)感染症対策

- ・手指衛生、マスクの着用、パーテーションの設定など感染症対策を継続するとともに、空気清浄機を各クラスと玄関に導入した。
- ・体調が悪い保護者にはPCR検査の協力を呼びかけ、休み中でも連絡が取れるように引き続き体制を整えた。
- ・日々の保育や行事の持ち方を工夫し、少人数で密にならないよう配慮したことで、中止ではなく、内容検討の上実施した。

### (3)防災、防犯対策の徹底

- ・リスクマネジメントへの理解を深めるため、専門家を招き、訓練の準備をしていたが実行出来なかった。次年度に向けて職員で話し合い、すすめている。
- ・散歩マップの見直しを行い、次年度より導入する。  
避難訓練後の振り返りを継続して行い、それぞれの気付きを共有したことで、様々な視点から防災対策への理解を深めるきっかけとなっている。

## IV 令和3年度特筆すべき取り組み、事業及び予算

取り組みの内容と予算の執行状況

取り組み	内 容	執行額	予算額
(1)建物整備	空調機整備及び空調機器フロン漏洩点検（にじ棟）	2,266,000 円	2,266,000 円



V 令和3年度各種実績報告

1 児童の入所状況

定員 120人 平均在籍園児数 118人 入所率 98.4%  
(単位:人)

年齢	月定員	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
0歳児	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	108
1歳児	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216
2歳児	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	252
3歳児	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	288
4歳児	24	24	23	23	23	23	23	22	22	22	22	22	22	271
5歳児	24	23	23	23	23	23	24	24	24	24	24	24	24	283
合計	120	119	118	118	118	118	119	118	118	118	118	118	118	1418
障がい児		8	10	10	10	10	10	10	10	10	10	12	12	122
障がい児等		6	7	7	7	7	7	7	7	7	7	5	5	79
延長保育		5	5	7	7	8	9	9	9	8	8	8	8	91
短時間延長保育		0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	6
1時間単位保育		10	10	13	21	15	12	17	20	18	16	14	16	182
短時間スポット延長		1	3	2	4	3	3	1	3	1	3	2	5	31

各区市延べ園児数 墨田区 1366人 江東区 42人 江戸川区 6人 日高市 4人

2 職員の状況

職名・職種	4/1現在	3/31現在
園長	1人	1人
副園長	1人	1人
主任保育士	2人	2人
保育士	22人	21人
看護師	1人	0人
給食	6人	6人
保育補助・休職補助等	7人	7人
事務・用務	0人	0人
合計	40人	38人

雇用形態	4/1現在	3/31現在
正規職員	27人	24人
有期契約職員	13人	14人

3 年間行事

(1) 定例行事

・誕生日会（園児の誕生日に行います）
・0歳児健診 ・身体測定
・避難訓練、消火訓練
・応急救護訓練
・おはなし会・・・ストーリーテラーによるパネルシアター・手遊び・素話

・体育指導・・・3. 4. 5才児対象

(2) 季節の行事

月	園 行 事	法人・ルーテル教会関係
4月	入園進級礼拝・クラス交流会（リモート）・イースター礼拝	
5月	春の健康診断	内部監査
6月	花の日礼拝・歯科検診	
7月		
8月		
9月	一斉引き渡し訓練	法人創立記念礼拝
10月	運動会	
11月	収穫感謝礼拝・子ども祝福式・秋の健診・歯科検診	
12月	クリスマス会（園児）	クリスマス礼拝
1月	新年礼拝	
2月	節分	
3月	卒園式・お別れ遠足・卒園児リクエスト献立	東京大空襲罹災者追悼記念礼拝

(3) 父母の会の行事等や保護者等との連携

月	行 事 や 連 携 内 容 等
9月	個人面談（全園児対象）
～3月	必要ある時、要望あった時は、時期に限らず行う

4 人材育成

(1) 職員の研修等参加状況

研修種別	研修名等	回数	参加者
キャリアアップ研修	乳児保育	3回	3人
〃	幼児保育	2回	2人
〃	障がい児保育	1回	1人
〃	保護者子育て支援	1回	1人
〃	保健衛生・安全対策	3回	3人
墨田区子ども子育て支援課	就学を見すえた幼児の生活リズム	1回	2人
〃	最新の保育科学からコロナ禍の園運営を考える	1回	1人
	多様性を受け入れるクラス作り	1回	1人
	リーダー研修	3回	1人
墨田区園長会	新人保育士等職員の就業継続支援研修	1回	2人
合 計		延 17回	延 10人

(2) 実習等受入れ状況

学校名等	期間・日数	人数
武蔵野大学	6/14～6/29 12日間	1人
〃	11/15～11/30 12日間	1人

東京YMCA社会体育・保育専門学校	7/1~7/14 10日間	1人
〃	10/11~10/22 12日間	1人
〃	2/7~3/10 10日間	1人
道灌山学園保育福祉専門学校	8/9~8/21 12日間	1人
〃	11/10~11/20 10日間	1人
大妻女子大学	11/8~11/24 12日間	1人
〃	2/7~2/21 12日間	1人
合	計	延 9人

## 令和3（2021）年度 富士見保育園 事業報告

### I 令和3年度の施設運営方針に基づく取り組みの成果と課題について

令和3年度は、コロナ禍において2年目となり、前年度の経験、対応を踏まえ運営した。感染者の増加とともに緊急事態宣言や蔓延防止が発令され、園内でも感染がおき、部分休園となった際は多くの不安があり、職員も職務にあたるうえで大きな心の負担があったのではないだろうか。

その中でも、職員のお互いを支え合う力、気にかける心、この状況の中で何ができるのか考える思いで進めていくことができた。保護者の方にも不安がある中、たくさんの協力、理解をいただき子どもたちも限られた中ではあるが一つひとつの経験を通して楽しみながら心を育むことができた。今後もコロナ禍での園生活が続き、子どもたち、保護者の方も3年目となるため、これまで以上に感染対策をしながら皆が楽しみ、満足感を得られる取り組みをしていきたい。

### II 令和3年度の重点的な取り組み目標と目標達成に向けての具体的な取り組みや事業

#### 1 子どもへのかかわり

重点的な取り組み目標に対する実績・成果

##### (1)保育内容の充実

・乳幼児保育は「担当制保育」幼児保育は「異年齢保育」を通して、一人ひとりの発達にあった丁寧できめ細やかな関わりをすることができ、互いの違いを認め合いながら共に育つ保育をすすめていくことができた。

普段の保育園生活、キリスト教の礼拝や神様との時間を通して、心の育ち、人を思う気持ちを養うことができ、人格を尊重することができている。

##### (2)保育内容の向上・継承

・改めて、保育の見直しを皆ですていくことを目標に全員参加型の園内研修を主任、副主任が中心となり進めて行った。一人ひとりの思いや日々の中での課題を十分に話せるよう同世代のグループで話し合い、まとめ、皆の前で発表しそれぞれの思い、課題を共有し話し合う時間を持つことができた。今後も定期的に行い、皆が同じ思い、方向を向き務めていくようにする。

##### (3)食育・食の安全

・野菜の栽培活動を通して、育つまでの過程を知り、食への興味、関心、食べれることへの感謝の心を培うことができた。アレルギー除去食や離乳食だけでなく、個々に合わせた食事の形状、量を調節することで食べられる満足感や意欲を持てるようにした。そのために栄養士、調理員、保育士が日頃から協力し連携を取り進めることができた。次年度は、感染対策をしながらクッキングを再開したい。

#### 2 保護者へのかかわり

重点的な取り組み目標に対する実績・成果

#### (1)法人・保育園の方針への理解

・父母の会、クラス懇談会、保育参加などコロナ禍において保護者参加の会はお手紙で伝え、行事などを通して園の思いを伝えると共に日々のやりとりを大切にしてきました。

次年度に向けてリモートなど保護者同士が顔を合わせて話せる機会を増やしていく。

#### (2)保護者支援

・子育てや仕事、日々の生活におわれ、心に余裕がなく精神的に不安定であったり、精神疾患を抱える方が増えてきている。こちらから声をかけることも大切だが話しやすい雰囲気、受け入れる環境作りを心がけた。今後も、皆で気にかけていくことを共有し、思いを伝え支えていきたい。共に子どもの成長を見守るという姿勢を大切にしていく。

### 3 地域へのかかわり

#### 重点的な取り組み目標に対する実績・成果

##### (1)地域の子育て支援

・今年度も小岩育成室(児童発達支援)、光照苑(特別養護老人ホーム)とのふれあい交流は中止となったが花の日礼拝や収穫感謝祭の際、お花や果物を園児と一緒に届けた。また卒園する年長組に育成室の子どもたちが手作りのお祝いメッセージカードをプレゼントしてくれるなどの交流は続けている。今後もお互いにでき得ることを話し合いながら交流を深めていきたい。

##### (2)一時預かり保育

・職員体制を鑑み中止とした。

### III 令和3年度の重点的な基盤整備目標と目標達成に向けての具体的な取り組み

#### 1 人材育成

##### 重点的な基盤整備目標に対する実績・成果

##### (1)職員の資質向上

・職員一人ひとりがそれぞれの役割(職務当番)を持ち、専門性を高めて取り組んでいけるよう、日々の保育、園での出来事、課題等、一つひとつの確認を行うようにした。

今後も昼礼やクラスでの話し合い、職員会議、園内研修等で保育園の日々の課題を共有し、皆で改善していけるようにしていく。

##### (2)接遇マナーの振り返り

・研修というかたちで行うことはできなかったが、定期的に自らの身嗜みや立ち居振る舞いなど、第三者が見てどう思うのか職員一人ひとりが確認するようにした。

#### 2 施設整備

## 重点的な基盤整備目標に対する実績・成果

### (1)建物維持管理

- ・今年度は大きな修繕はなく維持することができた。

## 3 危機管理

### 重点的な基盤整備目標に対する実績・成果

#### (1)防災意識を高める

- ・毎月の避難訓練(火災・地震・水害)では様々な時間帯で行い、限られた人数でも避難できるよう日々シミュレーションし、取り組むことができた。1階の避難が終わり次第、2階の0、1歳児の避難の応援へ駆けつける等、迅速かつ安全を考慮し避難できるよう想定し行うことができた。

#### (2)安全対策、点検

- ・園内は各クラス各場所で担当が決まっており、日々点検し必要なところは環境の見直しや修理をしてきた。園舎、園庭は職員が交代でチェック表をもとに点検するようにし1人の目では気付けないところも多く目の目で確認することで安全を守ることができた。見直しや修理が必要なところは昼礼等で確認し全体で把握するようにしている。

#### (3)感染症対策

- ・今年度も、手洗い・うがい・消毒の徹底をしてきた。感染者の増加と共に保育園内での感染も起き、部分休園となることがあったがクラスターは起きることなく最小限に抑えることができた。

職員、保護者の感染しない、させないという意識の高さに守られてきた。

- ・感染者が出た場合も区、法人に迅速に連絡を取り、調査結果をもとに即時対応することができた。

## IV 令和3年度特筆すべき取り組み、事業及び予算

### 取り組みの内容と予算の執行状況

取り組み	内 容	執行額	予算額
(1)修繕・器具取替	110通報装置(機能が対応しなくなったため)	209,000円	300,000円
(2)器具取付	事務室前空気清浄機	208,000円	0円
(3)一時預かり事業	新型コロナウイルスにより休止	円	円

V 令和3年度各種実績報告

1 児童の入所状況

定員 100人 平均在籍園児数 102人 入所率 102%  
(単位:人)

年齢	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
	定員													
0歳児	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	108
1歳児	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	180
2歳児	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216
3歳児	18	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	240
4歳児	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	240
5歳児	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	240
合計	100	102	102	102	102	102	102	102	102	102	102	102	102	1224
障がい児等		3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36
延長保育		5	6	6	6	7	7	7	8	8	8	9	11	88
1時間単位保育														
短時間スポット延長														

各区市延べ園児数 江戸川区(4～6月306名、7～10月404名、11～3月495名)

葛飾区(7～3月9名)市川市(11～3月10名)

2 職員の状況

職名・職種	4/1現在	3/31現在
園長	1人	1人
副園長	1人	1人
主任保育士	2人	2人
保育士	15人	13人
看護師	1人	0人
給食	4人	4人
保育補助・給食補助等	6人	7人
事務・用務	1人	2人
合計	31人	30人

雇用形態	4/1現在	3/31現在
正規職員	25人	23人
有期契約職員	6人	7人

3 年間行事等

(1) 年間行事・活動

4月 イースター礼拝・進級式を皆で守り、ファミリー組では「わくわくファミリーデー」を企画し、子どもたちと話し合いながら運動遊びやゲーム遊びを1年通して行い異年齢の関わりを深めることができた。

6月 花の日礼拝

7、8月	<p>幼児クラスはプール遊びを予定していたが新型コロナウイルス感染拡大、職員の感染などの影響により安全の確保が難しく、数回しか行うことができなかったが園庭で泥遊びやお祭りごっこなど楽しむことができた。</p> <p>お泊まり保育(5歳児)</p>
9月	<p>引き取り訓練</p> <p>お招き会(敬老の集い)は、招くことができなかったので子どもからのカードと園からのプレゼントを各家庭に送った。</p>
10月	<p>運動会はプログラムを短縮し保護者参加を各家庭1名とし行った。</p>
11月	<p>祝福式、収穫感謝祭</p>
12月	<p>第1～3アドベント礼拝</p> <p>園児クリスマス礼拝は4、5歳児で行い保護者参加は1名とした。</p> <p>卒園児クリスマスは担任から一人ひとりにクリスマスカード、園からオーナメントを送った。</p>
2月	<p>生活発表会は園児だけで行い、zoom配信で中継し保護者の方にご覧いただいた。会場で行った場合は保護者参加1名だったがリモートにより家族みんなで見れたことは良かったとご意見をいただく。</p>
3月	<p>入園説明会は4部制にし、少人数、面談は一部屋に一組ずつと感染対策を徹底し行うことができた。</p> <p>卒園式は5歳児と保護者参加1名で行った。</p>

(2) 季節の行事

月	園 行 事	法人・ルーテル教会関係
4月	進級式・イースター礼拝	辞令交付式・イースター礼拝
5月	家族の日・進級写真	内部監査
6月	花の日礼拝	
7月	プール遊び、水遊び・お泊まり保育	
8月	水遊び	
9月	引き取り訓練・お招き会	法人創立記念礼拝
10月	運動会	
11月	祝福式・収穫感謝祭	
12月	アドベント礼拝・クリスマス礼拝・クリスマス祝会	法人クリスマス礼拝
1月		
2月	生活発表会・入園説明会	
3月	卒園式・お別れ遠足	法人追悼記念礼拝

(3) 父母の会の行事等や保護者等との連携

月	行 事 や 連 携 内 容 等
4	父母の会総会(書面表決)
6	各クラス懇談会(書面)
12	幼児クラス個人面談
2	各クラス懇談会(書面)



3	父母の会総会(書面表決)
---	--------------

4 人材育成

(1) 職員の研修等参加状況

研修種別	研修名等	回数	参加者
キャリアアップ研修	マネジメント	2回	1人
	幼児	4回	2人
	乳児	1回	1人
	子育て支援	4回	2人
会計	会計実務研修 基礎 決算	1回	1人
	従事者共済会に関する会計処理研修	1回	1人
合 計		延 13回	延 8人

(2) 実習等受入れ状況

学校名等	期間・日数	人数
大妻女子大学	令和3年11月8日～11月24日	1人
愛国学園保育専門学校	令和3年8月10～8月12	1人
合 計		延 2人

## 令和3（2021）年度 こひつじ保育園 事業報告

### I 令和3年度の施設運営方針に基づく取り組みの成果と課題について

地域の中で支えられながら無事に16年目を迎えることができた。

前園長の退任後、園長・副園長の交代に伴い新しいスタートとなった。令和3年度はこれまでの15年間の歩みを大切にしながら、保育は勿論のこと、保護者対応や職員育成に関して一つひとつ丁寧に関わり経験していくことを意識した年であったが、様々な課題を確認できた年でもあった。

行事においては新型コロナウイルスの感染が収束しない中、保護者の参加の制限も余儀なくされてしまうなど従来通りの事業が行えなかったが、どのような形で行うことができるのか職員間で十分話し合いながらできる範囲で行った。利用者支援・保護者支援についてはこれまで令和2年度に引き続き「心も身体もゆっくりとしっかりと育てる」ことを保育目標におき、行事や礼拝を通して実践し、保護者の方に活動報告として毎月玄関ホールに写真を提示してきた。

また、一時預かり保育も地域貢献の一環ととらえると同時に育児のレスパイト機能の一貫として利用していただきながら、お迎えの際に時間をとって子育ての悩みを共感したり、専門性を活かして助言等を行ったことによりお子さんを預かり、保護者の時間を確保するだけでなく保護者自身が楽しく子育てができるような機会を提供できたのではないかと感じている。

危機管理については、防災士がいる保育園としてこれまで防災対策を強化してきた。令和3年度については防犯についても意識を高くするためにこれまで行っていた不審者対応訓練について、その役割をあらかじめ決めておくのではなく、訓練参加者が通報係、さすまた・ネットランチャー係、保育室入室を阻止する係など自発的に役割を経験するなど、実際の動きに近い形で訓練を行うこととした。

令和3年度から実質稼働をめざしていたICT化については、法人内の保育園と協働して導入することとなり、その先陣として本園で実施することとなったが個人情報の保護などいくつか解決しなければならない課題もあり、その導入には至っていない。

保育の実践については今後もホームページを最大限に利用しながら、保護者・地域に発信していく。

### II 令和3年度の重点的な取り組み目標と目標達成に向けての具体的な取り組みや事業

#### 1 子どもへのかかわり

重点的な取り組み目標に対する実績・成果

(1)子ども達が神さまに愛されているかけがえのない存在であることを感じられる

保育

幼児クラスで週1回行っている合同礼拝ではこれまで委嘱された担当牧師のみが聖話を行っていたが新たに園長・副園長も聖話を行うこととした。聖話の中のやりとりで子ども達が考える「神様」を知ることができた。また、聖話を

行った翌日、保護者から「子どもから聞きました」という報告を受けることもあり子ども達が神様を身近に感じていることを実感できた。

#### (2)担当制を取り入れた乳児保育

「ゆっくりとしっかりと育てていく」ことを念頭にクラス担任が協働して取り組んだ。子どもの求めに対し援助ができるよう体制を作り、きめ細やかに行うことにより、子ども達が早く職員や園に慣れ、安心した環境の中で生活を送ることができた。

#### (3)遊びを通して発達にあった様々な体験を重ねる幼児保育

年齢に応じた遊びを提供し、目標を持つことで保育を充実させることができた。

体育指導では外部の専任講師の指導を受けることにより特別な緊張感を感じながら発達に応じて体を動かす楽しさを感じることができた。

また、登園時に講師が来ることを心待ちにしている姿が多くあった。

#### (4)互いに認め合い育ち合うための異年齢保育

昨年度は食事スペースの密をさけるため幼児クラスでは固定のランチルームを設定し、クラスを分けず大きな空間で過ごすなど異年齢交流を日常的に図ることができたが、子どもたち一人ひとりについて丁寧に関わる事が行いにくい環境となってしまった。今年度は昨年度の反省から、各クラスでしっかりと向き合う環境へ変更したため積極的な異年齢保育を行う事ができなかった。

異年齢交流については他人へのやさしさを身につけることができ、互いに学び合い相乗効果を得られるなど成長には欠かせない保育環境と捉えているため、今後も新型コロナウイルスの感染状況を見ながら行っていきたい。

#### (5)食育・食の安全

偏食が多い子どもにとって食事の時間が苦痛と感じることがないようにゆっくりと関わることにより、無理なく食事をする事で食べる楽しさを感じることができた。

また、キノコ栽培や手で触れることができる野菜やじゃがいもなど芽が出て発育する様子を玄関ホールに展示することにより、食べ物をより身近に感じることができた。さらに、幼児クラスについては栄養士がそれぞれの年齢にあったテーマで三食栄養の話しや日本文化の行事食の意味など食への興味関心を持ってもらえるように働きかけた。そして、その様子を玄関に掲示し全クラスの保護者が目にする事により保育園全体の活動を知ってもらうことができた。

#### (6)その他子どもへの対応

自由遊びの時間から食事の時間に切り替わるときなど生活の節目で不安定になりがちな場面に保育者を配置し、個別に対応することにより安定して過ごすことができた。

## 2 保護者へのかかわり

## 重点的な取り組み目標に対する実績・成果

### (1)子ども中心にした関係を大切に成長の喜びを共有する

お迎え時には楽しんでいた日中の姿をわかりやすく説明することにより、保護者からも家庭での小さな出来事など話して下さるようになり、成長を喜び合うことができた。

令和3年度については特に玄関に活動写真を掲示し視覚的にもその月の活動を伝えることができた。お迎えの際に親子で掲示を見ながら遊んでいた時の様子やお友だちのことを伝えている様子を見ることができ、親子のコミュニケーションツールにもなっているととらえることができた。

### (2)保護者支援

墨田区から派遣されている巡回公認心理士と連携し、保育支援を行う上で気をつけることや有効な言葉かけについて助言を受けることで保育実践に活かすことができた。子どもにとって安心した環境のもと生活ができるよう支援することができた。

また、必要に応じて保護者と直接心理士が面談を実施し、困っていることなどに対するアドバイス等を行った。

## 3 地域へのかかわり

### 重点的な取り組み目標に対する実績・成果

#### (1)地域の子育支援

人数を制限した中であつたが月2回地域活動として乳児を対象に「身体測定」の時間を設けた。こうした機会に保育園に来ていただきながら成長を喜び合ったり子育てについての悩みや気になる行動を共有しアドバイスすることができ

#### (2)一時預かり保育

保育園開所時から行っている一時預かり事業であるが、週の始めには申し込みが殺到していることから地域に定着してきたことが伺える。

また、繰り返し利用して下さる方やすでに利用されている人から紹介された方などの新規利用もあり地域貢献の一助となっている。

具体的には、0～1歳児の利用者が多くなっている。また、利用理由については全体の25%が「育児に伴う心理的・肉体的軽減」となっており、次いで家事をする間や兄弟の行事の都合となっている。

また、幼稚園の長期休みとなる7月・8月・3月については5歳児の利用も多く見られた。

#### (3)異世代間交流

これまで新型コロナウイルスの影響により高齢の方々との具体的な交流を持つことはできなかった一方、3月の春休みの期間ではあるがボランティアとして卒園児保護者に呼びかけしたところ、多数の卒園児からの応募があつた。令和3年度は戸外活動のみであつたが今後も感染状況を見ながら園内での交流を目標に学校の長期の休みの時には募集をかけ交流を図っていきたい。

### Ⅲ 令和2年度の重点的な基盤整備目標と目標達成に向けての具体的な取り組み

#### 1 人材育成

##### 重点的な基盤整備目標に対する実績・成果

###### (1)法人の理念の継承

昼礼時にベタニヤホーム憲章を皆で読みあわせることにより法人として一体間を感じ、理念を読むごとに改めてビジョンを意識することができた。

聖書研究会では年間テーマに沿って聖書に触れ、学びの時間を持つことができた。保育園開設以来、北尾一郎牧師に聖書研究会の講師として来ていただいた15年間の学びを心に留めながらこれからもキリスト教保育を行っていく。

###### (2)職員育成と園内研修計画

今年度は保護者からの苦情が数件あった。保育を行っていくうえで日ごろから感じている子どもたちに対する想いや子ども一人ひとりへの対応について、職員同士で共有することをこれまで積極的に行ってこなかったことも要因の1つであると考え、職員全体で子どもの気持ちに寄り添った言葉かけなどについて考える時を持った。

コロナ禍で会議時間の短縮化や、職員同士のコミュニケーションが少なくならざるを得ない状況ではあったが、保護者と保育者はもちろんのこと保育者間で思いを1つにしていくための時間や場所を設けた。

###### (3)働き方改善の取り組み

育児短時間勤務を取得したり、親の介護を行っているなどいろいろな背景をもつ職員集団であるが、誰もが協力し合いながら共に働き続けられる環境作りについて、引き続き幹部職員が中心となって全職員への理解浸透に努める。

また、職員本人だけでなく、家族が新型コロナウイルスの濃厚接触者となったり罹患するなど突然休まなければならない状況になることも多くあった。今後、そのような状況になった時の職員体制については早急に対策を講じていく。

#### 2 施設整備

##### 重点的な基盤整備目標に対する実績・成果

###### (1)中長期修繕計画

水を使う厨房床の塗装が剥がれている箇所が広範囲にあり、傷みが大きかったため厨房床の改修工事を実施した。

#### 3 危機管理

##### 重点的な基盤整備目標に対する実績・成果

###### (1)子どもの安全能力を高める

戸外活動に行く前や事前に危険な場所や動き方について伝えることにより、子ども同士で危険個所を伝えあい、注意しあう姿があり相乗効果も見られた。

#### (2)防災・防犯・事故対策

毎月、様々な想定で避難訓練を行うことにより、サイレンが鳴ると放送を集中して聞くようになり、月を重ねるごとに円滑に避難ができるようになった。

これに合わせて職員は消火訓練を毎月、園独自の不審者対応訓練を年5回行った。

また、これまでの事故報告書に合わせてヒヤリハット報告を書くことを徹底し、大きな事故につながる可能性が高いものと低いものとに分けてファイルしたことにより怪我や事故の発生頻度や内容が一目で確認できるようし、全職員で目を通すようにチェック欄を設けた。看護師も毎月事故報告と合わせて内容等の確認をしている。

人数確認では戸外活動中、名簿を用いて一人ひとり確認することにより確実に人数確認を行うことができた。また、無線や園の携帯電話を使用し戸外活動場所到着時に園に連絡し人数確認を行っている。災害時等に利用できるよう必ず無線機か園の携帯電話を持って戸外活動に出ることとしている。

#### (3)感染症対策

新型コロナウイルス感染症の対策としては、墨田区より出されている方針に則って実施しているほか、戸外活動から帰った際に園に入る前に手を洗うため、玄関前の蛇口が1つであった所3つに増設し感染予防を図った。

### IV 令和3年度特筆すべき取り組み、事業及び予算

#### 取り組みの内容と予算の執行状況

取り組み	内 容	執行額	予算額
厨房床改修工事	水を使う厨房床の塗装の剥れが広範囲に発生し、傷みが大きかったため実施した。	781,000 円	700,000 円

V 令和3年度各種実績報告

1 児童の入所状況

定員 100人 平均在籍園児数 99人 入所率 98.9%  
(単位:人)

年齢	月定員	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
0歳児	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	72
1歳児	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	12	13	155
2歳児	18	18	18	18	18	17	18	18	18	18	18	18	18	215
3歳児	21	21	21	21	21	20	21	20	21	21	21	21	21	250
4歳児	21	20	20	20	20	20	20	20	21	21	21	20	20	243
5歳児	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	252
合計	100	99	99	99	99	97	99	98	100	100	100	98	99	1187
障がい児等		7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	84
延長保育		3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36
1時間単位保育		51	47	45	40	42	35	61	49	72	65	30	74	611
短時間スポット延長		3	3	2	4	5	1	0	1	5	3	2	3	32
一時預かり事業		52	30	45	38	35	29	31	34	49	21	18	41	423

各区市延べ園児数 墨田区 1175人、江東区 12人

2 職員の状況

職名・職種	4/1現在	3/31現在
園長	1人	1人
副園長	1人	1人
主任保育士	3人	3人
保育士	16人	17人
看護師	1人	1人
給食	3人	3人
保育補助・給食補助等	9人	8人
事務・用務	1人	1人
合計	35人	35人

雇用形態	4/1現在	3/31現在
正規職員	25人	25人
有期契約職員	10人	10人

(保育士資格を取得したため変更)

3 年間行事

(1) 定例行事

消火避難訓練	月1回	第3火曜日
合同礼拝	月4回	毎週火曜日(第1火曜日:担当牧師による礼拝)
聖書研究	月1回	第3火曜日
お祝い給食	月1回	第3木曜日(この他こどもの日などの行事給食)
身体測定	月1回	

0歳児検診	月1回	第3金曜日
-------	-----	-------

(2) 季節の行事

月	園行事	法人・ルーテル教会関係
4月	新入進級礼拝・イースター礼拝→（緊急事態宣言中により中止）	イースター礼拝（リモート）
5月	ファミリー交流会（緊急事態宣言中により中止）	
6月	花の日礼拝（幼児礼拝のみ）	
7月	水遊び（プールは中止） 特別保育（5歳児）	
8月	水遊び（プールは中止）	
9月	引き取り訓練（緊急事態宣言中により延期） お招き会（中止）	創立記念礼拝（リモート）
10月	ファミリースポーツデー（4歳児5歳児親子）	
11月	子ども祝福式 収穫感謝祭	
12月	一斉引き取り訓練 親子クリスマス会	クリスマス礼拝（リモート）
1月		
2月	生活発表会（中止）	
3月	卒園式（4歳児の参加なし）	罹災者記念礼拝（リモート）

4 人材育成

(1) 職員の研修等参加状況

研修種別	研修名等	回数	参加者
キャリアアップ研修	保健衛生・安全	1回	1人
	障がい児研修	1回	1人
園長会研修	副園長・主任研修	1回	1人
	保育中の噛みつき・ひっかきを考える	1回	1人
	障がいのある子どもや関わりの難しい子どもの保育	1回	1人
	保護者支援	1回	1人
現場研修	子どものアレルギー疾患に関する相談実務研修	3回	1人
	子どものてんかんセミナー	1回	1人
	食品衛生講習会	1回	1人
	2歳児クラスの保育教室	12回	1人
	衛生推進者養成研修	1回	1人
園内研修	子どもへの関わりについて	1回	25人
合 計		延 25回	延 36人

(2) 実習等受入れ状況

学校名等	期間・日数	人数
大妻女子大学（保育実習）	2021年11月15日～12月1日 12日間	2人
こども教育宝仙大学	2021年11月15日～12月1日 12日間	1人
大妻女子大学（栄養士実習）	2021年12月6日～12月24日 6日間	3人
合 計		延 6人



令和4年3月

社会福祉法人ベタニヤホーム  
事業報告書（案）